

撮ったものを整理する

ファイルとフォルダについて

本機では、撮影した静止画などのひとつひとつが、個別のデータとして記録されます。個別のデータのことを「ファイル」と呼びます。撮影したものをファイルとして扱うことにより、ファイル単位で消去したり、誤消去防止の設定をしたり、コピーしたり、といった操作が可能になります。

各ファイルは、本機が自動的に作成する「フォルダ」と呼ばれるまとまりにグループ分けされます。

ファイル、フォルダには、区別のための名前が付けられます。ファイル名、フォルダ名とも、本機が自動的に付けます。

- フォルダの構造に関して詳しくは、「メモリー内のフォルダ構造」(166ページ)をご覧ください。

	名前と最大作成数	例
ファイル	“CIMG0001”から“CIMG9999”までで、最大9999個のファイルが1つのフォルダに作成されます。拡張子は記録したファイルの形式によって異なります。 <ul style="list-style-type: none">• ひとつのフォルダに9999個のファイルが入っているときに次の撮影をすると、自動的に新しいフォルダができます。	26番目に記録したファイル名： CIMG0026.JPG 連番(4桁) 拡張子
フォルダ	“100CASIO※”から“999CASIO※”までです。 <ul style="list-style-type: none">• 最大900のフォルダが作成されます。 ※本機のベストショットモード(66ページ)にはオークションサイトへの出品を撮影する“オークション”のシーンを収録しています。このシーンで撮影した場合、フォルダ名は「100_AUCT」となります。	連番100のフォルダ名： 100CASIO※ 連番(3桁)

参考

- フォルダ名、ファイル名は、パソコンで見ることができます。カメラの液晶モニターでの表示については、172ページをご覧ください。
- 保存できるフォルダ数、ファイル数は、サイズや画質、メモリーカードの容量によって異なります。


ファイルを消去できないようにする

大事なファイルを誤って消してしまうことのないよう、ファイルごとに、またはすべてのファイルに、消去防止(メモリープロテクト)を設定することができます。

重要

- メモリープロテクトをかけたファイルでも、フォーマット操作(11、33、134ページ)を行うと、消去されてしまいます。

■ ファイルごとにメモリープロテクトをかける

- 再生モードにして【MENU】を押す
- “再生機能”タブ → “プロテクト”と選び、【▶】を押す
- 【◀】【▶】でメモリープロテクトをかけたいファイルを表示させる
- 【▲】【▼】で“オン”を選び、【SET】を押す
メモリープロテクトがかかり、“

- 続けて別のファイルにメモリープロテクトをかける場合は手順3、手順4を繰り返す

- メモリープロテクトの設定をやめるには、【MENU】を押してください。

メモリープロテクトを解除するには

手順4で“オフ”を選んで【SET】を押します。

■ 全ファイルにメモリープロテクトをかける

- 再生モードにして【MENU】を押す
- “再生機能”タブ → “プロテクト”と選び、【▶】を押す
- 【▲】【▼】で“全ファイル オン”を選び、【SET】を押す
これで、すべてのファイルにメモリープロテクトがかかります。
- 【MENU】を押す

すべてのファイルのメモリープロテクトを解除するには
手順3で“全ファイル オフ”を選んで【SET】を押します。

お気に入りフォルダを使う

お気に入りフォルダとは内蔵メモリーの中に用意されているフォルダで、通常の再生ではその中身を見ることはできません。思い出の風景や家族の写真、またはプライベートな写真などを入れておくと、メモリーカードを変えても、またはメモリーカードを入れていなくても見ることができます。好きな静止画をいつも持ち歩きたいときなどにお使いください。

重要

- お気に入りフォルダに登録できるのは、静止画だけです。音声付き静止画の場合は、静止画だけがお気に入りフォルダに登録されます。

■ お気に入りフォルダにファイルを登録(コピー)する

1. 再生モードにして【MENU】を押す
2. “再生機能”タブ → “お気に入り”と選び、【▶】を押す
3. 【▲】【▼】で“登録”を選び、【SET】を押す
4. 【◀】【▶】でお気に入りフォルダに登録したい静止画を表示させる
5. 【▲】【▼】で“登録”を選び、【SET】を押す
静止画がお気に入りフォルダに登録されます。

6. 続けて別のファイルをお気に入りフォルダに登録する場合は手順4、手順5を繰り返す

- 登録をやめるには、【MENU】を2回押してください。

重要

- お気に入りフォルダに静止画を登録すると、QVGA(320×240 pixels)のサイズに変更されます。お気に入りフォルダの静止画のサイズを元に戻すことはできません。
- お気に入りフォルダに登録したファイルをメモリーカードにコピーすることはできません。

参考

- 登録できるファイル数は、画質、内蔵メモリーの空き容量により異なります。

■ お気に入りフォルダの静止画を見る

1. 再生モードにして【MENU】を押す
2. “再生機能”タブ → “お気に入り”と選び、【▶】を押す
3. 【▲】【▼】で“表示”を選び、【SET】を押す

4. 【◀】【▶】でお気に入りフォルダの静止画を切り替える



お気に入りフォルダアイコン

5. 【MENU】を2回押す

お気に入りフォルダの表示が終了します。

お気に入りフォルダの内容をパソコンで表示するときは

1. カメラからメモリーカードを取り出す
2. カメラをUSBクレードルにセットする
3. カメラをパソコンから操作する

パソコン上では、お気に入りフォルダは“FAVORITE”フォルダとして表示されます。

ファイルをコピーする

内蔵メモリーからメモリーカードへ、またはメモリーカードから内蔵メモリーへ、ファイルをコピーすることができます。たとえば、自分のメモリーカードを使って撮影した画像を他の人のメモリーカードにコピーしてあげるときは、次のような手順になります。

- ① 自分のメモリーカードから内蔵メモリーにコピーする
- ② 自分のメモリーカードを抜いて、他の人のメモリーカードをセットする
- ③ 内蔵メモリーから、そのメモリーカードにコピーする

重要

- コピーできるのは、カメラで撮影した静止画、動画、音声付き静止画、ボイスレコードファイルだけです。
- お気に入りフォルダからのコピーはできません。
- コピーしたファイルをカレンダー表示した場合、ファイルはコピーした日付上に表示されます(105ページ)。

■ 内蔵メモリーからメモリーカードにコピーする

内蔵メモリーからメモリーカードにコピーする場合は、すべてのファイルがコピーされます。1ファイルずつ指定してコピーすることはできません。

1. ファイルをコピーしたいメモリーカードを本機に入れる
2. 電源を入れ、再生モードにして【MENU】を押す
3. “再生機能”タブ → “コピー”と選び、【▶】を押す
4. 【▲】【▼】で“内蔵 → カード”を選び、【SET】を押す
コピーが始まります。“処理中です しばらくお待ちください”の表示が消えたらコピー終了です。
 - コピーが終了すると、コピーしたフォルダの最後のファイルが表示されます。

■ メモリーカードから内蔵メモリーにコピーする

メモリーカード内のファイルをひとつひとつ内蔵メモリーにコピーできます。

1. コピーしたいファイルが入ったメモリーカードを本機に入れる
2. 電源を入れ、再生モードにして【MENU】を押す
3. “再生機能”タブ → “コピー”と選び、【▶】を押す
4. 【▲】【▼】で“カード → 内蔵”を選び、【SET】を押す
5. 【◀】【▶】でコピーしたいファイルを選ぶ
6. 【▲】【▼】で“コピー”を選び、【SET】を押す
コピーが始まります。“処理中です しばらくお待ちください”の表示が消えたらコピー終了です。
 - コピーが終了すると、コピーを始める前に表示されていたファイルに戻ります。
7. 続けて別のファイルをコピーする場合は手順5、手順6を繰り返す
 - コピーをやめるには、【MENU】を押してください。

参考

- ファイルは、内蔵メモリーの一番大きい番号のフォルダにコピーされます。

消去する

プリントしたり、パソコンにコピーした画像のファイルは、メモリーから消去して、次の撮影のための容量を確保することができます。


ファイルの消去には、1つずつ消去する方法とすべてのファイルを1回の操作で消去する方法があります。

ここでは、併せてお気に入りフォルダ内のファイルの消去のしかたも説明します。

重要

- 消去したファイルは元に戻せません。消去する前に、本当に不要かどうかよく確認してください。
- メモリープロテクトのかかったファイルは消去できません。消去するときは、メモリープロテクトを解除してください(123ページ)。
- 音声付きの静止画を消去すると、静止画といっしょに音声ファイルも消去されます。


1 ファイルずつ消去する

1. 再生モードにして【▼】
()を押す




2. 【◀】【▶】で消去したいファイルを表示させる
3. 【▲】【▼】で“消去”を選び、【SET】を押す
 - 消去を中止したいときは、“キャンセル”を選んでください。
4. 続けて別のファイルを消去する場合は手順2、手順3を繰り返す
 - 消去をやめるには、【MENU】を押してください。

すべてのファイルを消去する

1. 再生モードにして【▼】()を押す
2. 【▲】【▼】で“全ファイル消去”を選び、【SET】を押す
3. 【▲】【▼】で“はい”を選ぶ
 - 消去を中止するときは、“いいえ”を選んでください。
4. 【SET】を押す
 - すべてのファイルが消去され、“ファイルがありません”と表示されます。

お気に入りフォルダのファイルを消去する

お気に入りフォルダ内のファイルも、1ファイルずつ、または一括して消去できます。

1. 再生モードにして【MENU】を押す
2. “再生機能”タブ → “お気に入り”と選び、【▶】を押す
3. 【▲】【▼】で“表示”を選び、【SET】を押す
4. 【▼】()を押す
5. 通常の消去方法と同様に操作して、ファイルを1ファイルずつ、または一括して消去する
 - 消去をやめるには、【MENU】を2回押してください。

その他の設定について

カメラの音を設定する


カメラの音について、次の設定ができます。

- シャッター音や操作したときの音の種類/音量
- 動画やボイスレコードの再生音の音量

■ 操作音の種類を選ぶ

1. [MENU]を押す
2. “設定”タブ → “操作音”と選び、[▶]を押す
3. [▲][▼]で設定したい音を選び、[▶]を押す
4. [▲][▼]で設定内容を選び、[SET]を押す
サウンド1～5 : 内蔵されたサンプル音が鳴ります。
切 : 音は鳴りません。

■ 操作音量を設定する

1. [MENU]を押す
2. “設定”タブ → “操作音”と選び、[▶]を押す
3. [▲][▼]で“ 操作音”を選ぶ

4. [◀][▶]で再生したい音量を選び、[SET]を押す


- 音量は“0”(最小)～“7”(最大)の8段階の間で設定できます。
- 音量を“0”に設定すると、音は鳴りません。

参考

- 操作音の設定はビデオ出力時(101ページ)の音量にも反映されます。

■ 再生音量を設定する

操作音とは別に、動画や音声付き静止画の音量を設定することができます。

1. [MENU]を押す
2. “設定”タブ → “操作音”と選び、[▶]を押す
3. [▲][▼]で“ 再生音”を選ぶ
4. [◀][▶]で再生したい音量を選び、[SET]を押す

- 音量は“0”(最小)～“7”(最大)の8段階の間で設定できます。
- 音量を“0”に設定すると、音は鳴りません。



重要

- 再生音の設定はビデオ出力時(101ページ)音量に反映されません。

起動画面のオン/オフを切り替える

カメラが記録している画像を、起動画面として液晶モニターに表示させることができます。

- 再生モードで起動画面の設定を行っても、**[▶]**(再生)を押して電源を入れた場合は、起動画面は表示されません。

- 1. [MENU]**を押す
- “設定”タブ → “起動画面”と選び、**[▶]**を押す
- [◀][▶]**で起動画面にしたい画像を表示させる
- [▲][▼]**で設定内容を選び、**[SET]**を押す
入：選んだ画像を起動画面として表示します。
切：起動画面は表示しません。

参考

- 起動画面に設定できる画像は以下の通りです。
 - カメラに内蔵されている起動画面用の専用画像
 - 静止画
 - 音声付き静止画(音声は再生されません)
- 起動画面は、1つだけ登録できます。起動画面を変更すると、メモリー内の画像は上書きされます。
- 登録した起動画面は、内蔵メモリーをフォーマット(134ページ)すると消去されます。

画像の連番のカウント方法を切り替える

撮影時に画像に付く連番(122ページ)のカウント方法を切り替えることができます。

- 1. [MENU]**を押す
- “設定”タブ → “ファイルNo.”と選び、**[▶]**を押す
- [▲][▼]**で設定内容を選び、**[SET]**を押す

メモリする：今まで撮影したファイルの連番を記憶します。ファイルを消去したり、空のメモリーカードに交換しても、記憶した連番からファイル名を付けます。

- メモリーカードにファイルが残っている場合で、残っているファイルのファイル名がカメラの記憶した連番より大きい場合は、残っているファイルの最大の連番+1からファイル名が付きます。

メモリしない：ファイルをすべて消去したり、空のメモリーカードに交換すると、ファイルの連番を継続せずに、0001番からファイル名を付けます。

- メモリーカードにファイルが残っている場合は、残っているファイルの最大の連番+1からファイル名を付けます。

カメラの日時を設定し直す

日時を設定し直したいときは、ホームタイムの都市(カメラを使用する都市)を設定してから日時を設定します。日時だけを設定し直したいときは、「ホームタイムの日時を設定し直す」の操作だけで日時を設定することができます。

重要

- 日時を設定する前にホームタイムを自分の住んでいる地域に設定しないと、ワールドタイム(132ページ)の日時が正しく表示されません。

■ ホームタイムの都市を設定し直す

1. **[MENU]**を押す
2. “設定”タブ → “ワールドタイム”と選び、**[▶]**を押す
現在設定されている内容が表示されます。
3. **[▲][▼]**で“自宅”を選び、**[▶]**を押す
4. **[▲][▼]**で“都市”を選び、**[▶]**を押す
5. **[▲][▼][◀][▶]**で自宅の地域を選び、**[SET]**を押す
6. **[▲][▼]**で自宅の都市を選び、**[SET]**を押す
 - 日本で使う場合は“Tokyo”を選んでください。
7. **[SET]**を押して、設定を終了する

■ ホームタイムの日時を設定し直す

1. **[MENU]**を押す
2. “設定”タブ → “日時設定”と選び、**[▶]**を押す
3. 日付と時刻を合わせる
 - [▲][▼]** :カーソル(選択棒)の部分の数字を変えます。
 - [◀][▶]** :カーソル(選択棒)を移動します。ズームレバー:12時間表示と24時間表示の切り替えができます。
4. **[SET]**を押して、設定を終了する

■ 日付の表示スタイルを切り替える

画面に表示される日付の表示スタイルを3つの中から選ぶことができます。

1. **[MENU]**を押す
2. “設定”タブ → “表示スタイル”と選び、**[▶]**を押す
3. **[▲][▼]**で設定内容を選び、**[SET]**を押す

例) 2007年12月19日

年/月/日:07/12/19

日/月/年:19/12/07

月/日/年:12/19/07

ワールドタイムを表示する

購入時に設定した自宅の日時とは別に、海外旅行などで訪問する都市の日時を1都市選んで表示することができます。世界162都市(32タイムゾーン)に対応しています。

ワールドタイムを設定する

1. 【MENU】を押す
2. “設定”タブ → “ワールドタイム”と選び、【▶】を押す
3. 【▲】【▼】で“訪問先”を選び、【▶】を押す
4. 【▲】【▼】で“都市”を選び、【▶】を押す
 - サマータイムを設定するときは、【▲】【▼】で“サマータイム”を選び、“入”に設定します。
 - サマータイムとは、夏の一定期間、日照時間を有効に使うため、通常の時刻から1時間進める夏時間制度のことです。
 - サマータイムの採用時期は国や地域によって異なります（日本では採用されていません）。



5. 【▲】【▼】【◀】【▶】で訪問先の地域を選び、【SET】を押す
6. 【▲】【▼】で訪問先の都市を選び、【SET】を押す
7. 【SET】を押して、設定を終了する

■ ワールドタイムとホームタイムの表示を切り替える

1. 【MENU】を押す
2. “設定”タブ → “ワールドタイム”と選び、【▶】を押す
3. 【▲】【▼】で“訪問先”を選ぶ
自宅 : ホームタイムの日時を表示します。
訪問先 : ワールドタイムの日時を表示します。
4. 【SET】を押して、設定を終了します。

表示言語を切り替える

画面のメッセージの言語を変更することができます。

1. 【MENU】を押す
2. “設定”タブ → “Language”と選び、【▶】を押す
3. 【▲】【▼】【◀】【▶】で設定内容を選び、【SET】を押す

液晶モニターの明るさを切り替える

液晶モニターの明るさを切り替えることができます。

1. 【MENU】を押す

2. “設定”タブ → “液晶設定”と選び、【▶】を押す

3. 【▲】【▼】で設定値を選び、【SET】を押す

オート2/ : 周囲の環境を判断して、明るい環境下では自動

オート1 的に液晶が明るくなります。

「オート2」は「オート1」に比べて、より暗い環境から液晶が明るく切り替わります。

+2 : 「+1」に比べてさらに液晶が明るくなり、見やすくなります。反面、消費電力が大きくなります。

+1 : 屋外などの明るい場所で使用する場合の設定です。「0」に比べて液晶が明るくなり、見やすくなります。反面、消費電力が大きくなります。

0 : 屋内などの明るすぎない場所で使用する場合の設定です。

USB通信の方法を切り替える

パソコンやプリンターなどの外部機器と接続するときの、USB通信の方法を切り替えることができます。接続する機器に合わせて切り替えてください。

1. 【MENU】を押す

2. “設定”タブ → “USB”と選び、【▶】を押す

3. 【▲】【▼】で使用する機器に合わせて設定を選び、【SET】を押す

- Mass Storage (USB DIRECT-PRINT) :
パソコンやUSB DIRECT-PRINT対応(137ページ)のプリンターを接続する場合、こちらを選びます。パソコンにカメラを外部記憶装置として認識させる方法です。通常、パソコンへの画像の保存の操作時(付属のソフト「Photo Loader with HOT ALBUM」使用時)はこちらを選んでください。
- PTP (PictBridge) :
PictBridge対応(137ページ)のプリンターを接続する場合に選びます。画像データを外部接続機器に簡単に転送するための接続方法です。

【▶】(再生)の動作を設定する

【▶】(再生)を押したときの電源の入りかたを設定します。

1. 【MENU】を押す

2. “設定”タブ → “【▶】パワーオン”と選び、【▶】を押す

3. 【▲】【▼】で設定内容を選び、【SET】を押す

パワーオン：【▶】(再生)を押すと、電源が入ります。

長押しオン：【▶】(再生)を約1秒間押し続けると、電源が入ります。カメラをカバンの中に入れたときなど、不用意に電源が入ることを防ぎます。

切：【▶】(再生)を押しても、電源は入りません。

参考

- お買い上げいただいたときは、“パワーオン”に設定されています。
- テレビに画像を映し出す場合は、“切”以外に設定する必要があります。

内蔵メモリーをフォーマットする

内蔵メモリーをフォーマットすると、内蔵メモリーの内容がすべて消去されます。

重要


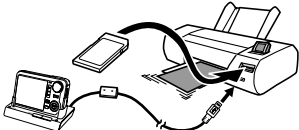
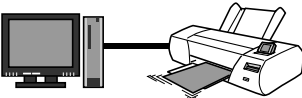
- 内蔵メモリーをフォーマットすると、データを元に戻すことはできません。フォーマット操作を行う際は、本当にフォーマットしてもよいかどうかをよく確かめてから行ってください。
- 次の画像も同時に消去されます。
 - メモリープロテクトされた画像
 - お気に入りフォルダの画像
 - ベストショットモードでカスタム登録した内容
 - 起動画面に設定した画像
- フォーマット操作を行うときは、十分に充電された電池を使用してください。フォーマット中に電源が切れると、正しくフォーマットされず、カメラが正常に動作しなくなる恐れがあります。
- フォーマット中は、絶対に電池カバーを開けないでください。カメラが正常に動作しなくなる恐れがあります。

1. 本機にメモリーカードが入っていないことを確認する
 - メモリーカードが入っている場合は、取り出してください。
2. 【MENU】を押す
3. “設定”タブ → “フォーマット”と選び、【▶】を押す
4. 【▲】【▼】で“フォーマット”を選び、【SET】を押す
内蔵メモリーがフォーマットされます。
 - フォーマットを実行しないときは、“キャンセル”を選んでください。
 - フォーマットが完了すると、再生モードの場合は“ファイルがありません”と表示されます。

プリント(印刷)する

プリントのしかたあれこれ

撮影した画像は、3通りの方法でプリントできます。

お店で プリントする (137ページ)	 <p>○△プリント</p>	撮影に使ったメモリーカードを、 プリントサービスのお店 に持参してプリントします。 <ul style="list-style-type: none">● プリントしたい画像や枚数、日付の情報を設定しておくことができます。
自宅で プリントする	プリンターでプリントする(137ページ) 	PictBridge または USB DIRECT-PRINT に対応しているプリンターや、メモリーカードを差し込む スロット が付いているプリンターでプリントします。 <ul style="list-style-type: none">● プリントしたい画像や枚数、日付の情報を設定しておくことができます。
	パソコンを使ってプリントする 	■Windowsパソコンの場合 付属のソフト(Photo Loader with HOT ALBUM)をパソコンにインストールした後、プリントします。 →「 Windowsパソコンを利用する 」(144ページ) ■Macintoshの場合 画像をパソコンに取り込んだ後、市販のプリントソフトを使ってプリントします。 →「 Macintoshを利用する 」(160ページ)

■ プリントについてのご注意

- 印刷品位や用紙の設定についてはプリンターの取扱説明書をご覧ください。
- PictBridgeやUSB DIRECT-PRINT対応プリンターの機種名やプリンターのバージョンアップなどについては、プリンターメーカーにお問い合わせください。
- プリント中は、ケーブルを抜いたり、カメラやUSBクレードルの操作を行わないでください。プリンターがエラーを起すことがあります。

お店でプリントする

プリントしたい画像が記録されているメモリーカードを、プリントサービスを行っているカメラ店などに持参してプリントします。DPOF機能(140ページ)を使って、プリントしたい画像や枚数、日付プリントの設定をあらかじめしておく、お店での手続きが簡単です。

お手持ちのプリンターでプリントする

お手持ちのプリンターが以下のどちらかのタイプの場合、パソコンを使わずにプリントできます。

- ご使用のメモリーカードに対応したメモリーカードスロット付のプリンター
- PictBridgeまたはUSB DIRECT-PRINTに対応しているプリンター

■ メモリーカードスロット付のプリンターでプリントする

メモリーカードをカメラから取り出し、プリンターのスロットに直接セットしてプリントできます。また、プリンターによってはカメラのDPOF機能(140ページ)で設定した内容(画像の指定、枚数、日付)が利用可能です。詳しくは、プリンターに付属の説明書にしたがって操作してください。

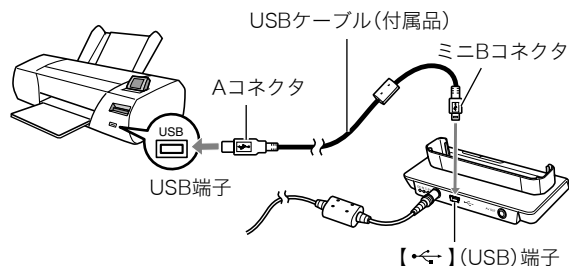
■ PictBridgeまたはUSB DIRECT-PRINT対応のプリンターでプリントする

カメラをプリンターに直接接続し、カメラの液晶モニター上でプリントする画像を選んでプリントできます。

- このカメラは付属のUSBクレードルを介してプリンターと接続しますが、すぐにUSBクレードルとプリンターを接続せず、必ず以下の手順を進めてください。

1. [MENU]を押す

2. “設定”タブ → “USB”と選び、**[▶]**を押す
3. **[▲]****[▼]**で使用するプリンターに合わせて設定を選び、**[SET]**を押す
 Mass Storage(USB DIRECT-PRINT):
 ご使用のプリンターがUSB DIRECT-PRINT対応の場合、こちらを選びます。
 PTP(PictBridge):
 ご使用のプリンターがPictBridge対応の場合、こちらを選びます。
4. 付属のUSBケーブルでUSBクレードルとプリンターのUSB端子を接続する



- USBクレードルにはACアダプターも接続しておいてください。
- ACアダプターを使用しないときは、十分に充電された電池をセットしてください。

- 付属のAVケーブルがUSBクレードルに接続されていると、カメラの液晶モニターには何も表示されませんので、AVケーブルは必ずUSBクレードルからはずしてください。
5. カメラの電源を切り、カメラをUSBクレードルにセットする
 6. プリンターの電源を入れる
 7. プリンターに印刷用紙をセットする
 8. USBクレードルの**[USB]**を押す
 カメラにプリントメニュー画面が表示されます。



9. **[▲]****[▼]**で“用紙サイズ”を選び、**[▶]**を押す

10. **【▲】****【▼】**でプリントする用紙サイズを選び、**【SET】**を押す

- 用紙サイズは次の通りです。
“L判”、“2L判”、“はがき”、“A4”、“Letter”、“プリンタで設定”
- “プリンタで設定”を選ぶと、プリンター側で設定した用紙サイズでプリントされます。
- 用紙について設定できる内容は、接続したプリンターによって異なります。詳しくはプリンターの取扱説明書をご覧ください。

11. **【▲】****【▼】**でプリントの方法を指定する

1枚プリント : 1枚ずつプリントする場合に選び、**【SET】**を押します。続けて**【◀】****【▶】**でプリントしたい画像を選びます。

DPOFプリント : 複数の画像やすべての画像をプリントする場合に選び、**【SET】**を押します。DPOF機能で設定した画像がプリントされます。設定方法については140ページをご覧ください。

- 日付設定の入/切を切り替えるには、ズームレバーをスライドさせます。“あり”を表示させると、日付がプリントされます。



12. **【▲】****【▼】**で“プリント”を選び、**【SET】**を押す

プリントが始まり、液晶モニターに“処理中ですしばらくお待ちください”と表示されます。しばらくすると表示が消えますが、プリントは終了していません。カメラのいずれかのボタンを押すと、プリントの状況が再び表示されます。プリントが終了すると、プリントメニュー画面に戻ります。

- “1枚プリント”で別の画像をプリントする場合は、手順11から同様の操作を行ってください。

13. プrintが終了したらUSBクレードルの**【USB】**を押す

カメラの電源が切れます。

プリントする画像や枚数を指定しておく (DPOF)

DPOF (Digital Print Order Format) とは、撮影した画像の中からプリントしたい画像や枚数などを設定し、その情報をメモリーカードなどの記録媒体に記録するための規格です。DPOF対応の家庭用プリンターやプリントサービス店でプリントすることができます。本機のDPOF機能を使えば、画像のファイル名などを意識することなく、液晶モニターで確認しながら設定ができます。

設定可能な内容は、画像／枚数／日付です。



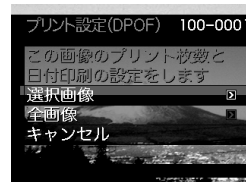
重要

- プリンターによっては、日付の設定が無効になったり、DPOFに対応していない場合があります。プリンターの取扱説明書にしたがって操作してください。
- お店でプリントをする場合、DPOF機能を利用できない場合や他の方法でプリントを受け付けている場合があります。その際は、店頭のサービスにしたがってプリントをご依頼ください。

■ 画像ごとにプリント枚数を指定する

1. 再生モードにして【MENU】を押す

2. “再生機能”タブ → “プリント設定 (DPOF)”と選び、【▶】を押す



3. 【▲】【▼】で“選択画像”を選び、【▶】を押す

4. 【◀】【▶】でプリントしたい画像を表示させる

5. 【▲】【▼】でプリントする枚数を決める

- プリント設定できる枚数は99枚までです。プリントしたくない場合は“00”にしてください。

6. 日付をプリントしたい場合は、ズームレバーをスライドさせて日付印刷を“あり”にする

- 日付が不要なときは、ズームレバーをスライドさせて日付印刷を“なし”にします。
- 他の画像をプリントする場合は、手順4～6を繰り返してください。

7. 【SET】を押す

■ すべての画像に同じプリント指定をする

1. 再生モードにして【MENU】を押す
2. “再生機能”タブ → “プリント設定(DPOF)”と選び、【▶】を押す
3. 【▲】【▼】で“全画像”を選び、【▶】を押す
4. 【▲】【▼】でプリントする枚数を決める
 - プリント設定できる枚数は99枚までです。プリントしたくない場合は“00”にしてください。
5. 日付をプリントしたい場合は、ズームレバーをスライドさせて日付印刷を“あり”にする
 - 日付が不要なときは、ズームレバーをスライドさせて日付印刷を“なし”にします。
6. 【SET】を押す

次回のプリント時に気をつけていただきたいこと

プリントが完了してもDPOFの設定は自動的に解除されません。次回プリント時にも前回設定した画像がある場合、同じ画像がプリントされてしまいます。以前プリントした画像をプリントしない場合は、一度「すべての画像に同じプリント指定をする」(141ページ)の操作で、全画像プリントの枚数設定を“00”にしてから、あらためてプリント枚数を設定してください。

お店でプリントするときに気をつけていただきたいこと

お店にプリントを注文する場合は、注文時に「DPOFでプリントする画像、枚数、日付を設定済みです」とお伝えください。お伝えいただかないと、設定された内容(画像、枚数、日付)が反映されず、すべての画像がプリントされたり、日付がプリントされないことがあります。

日付プリントについて

以下の方法で、画像に撮影時の日付を入れてプリントすることができます。

- **本機のDPOF機能で指定する(140ページ)**
 - 本機のタイムスタンプ機能により、日付や時刻を写し込んだ画像にDPOFで日付印刷を設定すると、日付が2重に印刷されてしまいますので、DPOFによる日付印刷は設定しないでください。
 - プリンターによっては、日付の設定が無効になったり、DPOF機能に対応していない場合があります。プリンターの取扱説明書にしたがって操作してください。
 - プリントをするお店によってはDPOF機能に対応していない場合がありますので、あらかじめご確認ください。
- **本機のタイムスタンプ機能により日付や時刻を画像に直接写し込む(90ページ)。**
- **付属のソフト「Photo Loader with HOT ALBUM」(144ページ)で日付を入れてプリントする(Windowsパソコンの場合)**
- **お店にプリントを注文するときに、日付プリントするよう依頼する**
 - プリントするお店によっては、日付をプリントできない場合がありますので、あらかじめご確認ください。

対応規格について

本製品は下記の規格に対応しています。

■ PictBridge

カメラ映像機器工業会(CIPA)制定の規格です。



■ USB DIRECT-PRINT

セイコーエプソン株式会社提唱の規格です。



■ PRINT Image Matching III

PRINT Image Matching III 対応プリンターでの出力および対応ソフトウェアでの画像処理において、撮影時の状況や撮影者の意図を忠実に反映させることが可能です。

PRINT Image Matching及びPRINT Image Matching IIIに関する著作権はセイコーエプソン株式会社が所有しています。



■ Exif Print

Exif Print(Exif2.2)は、対応プリンターをお使いの場合に画像ファイルに記録された撮影情報を印刷出力に反映させることを可能にします。

Exif Print対応プリンターの機種名やプリンターのバージョンアップ等については、各プリンターメーカーにお問い合わせください。



パソコンを利用する

パソコンを使ってできること

カメラを、付属のUSBクレードルを介してパソコンに接続して、次のことができます。

画像を見る/ 保存する*	カメラの画像をパソコンで見たり、パソコンに保存することができます。 <ul style="list-style-type: none">Windowsパソコンの場合、OSのバージョンによっては、付属のUSBドライバをパソコンにインストールする必要があります。Macintoshの場合、USBドライバのインストールは不要です。
画像を管理/ 編集/印刷する	パソコンに保存した画像に対して、付属のソフトを使っているいろいろな操作ができます。 <ul style="list-style-type: none">以降の説明をお読みになり、必要なソフトをパソコンにインストールしてください。
画像を転送する	Windowsパソコンの場合のみ、パソコンに保存されている画像をカメラに転送できます。 <ul style="list-style-type: none">カメラで撮影した画像以外の画像も転送できます。また、パソコンに表示されている画面の一部(Webページの情報や地図など)をキャプチャー(切り抜き)して転送できます。

※カメラとパソコンを接続せず、カメラから取り出したメモリーカードを直接パソコンにセットして、画像を見たり保存したりする方法もあります(165ページ)。

カメラとパソコン、付属のソフトを使ってできることや操作のしかたは、Windowsパソコンの場合とMacintoshパソコンの場合で異なります。

- Windowsパソコンの場合→「Windowsパソコンを利用する」(144ページ)
- Macintoshの場合→「Macintoshを利用する」(160ページ)

重要

- このカメラは、USB2.0 Hi-Speedに対応しています。USB1.1対応のパソコンでもご使用できますが、USB2.0 Hi-Speedに対応したパソコンに接続することにより、より高速な転送が行えます。ただし、機器の構成やUSBハブのご使用等により、転送速度が遅くなったり、正常に動作しない場合があります。



Windowsパソコンを利用する

OSのバージョンおよび使用目的に応じて、必要なソフトをインストールしてください。

使用目的	OSのバージョン	インストールするソフト	参照ページ
<ul style="list-style-type: none"> パソコンで画像を見る パソコンに画像を保存 	Vista/ XP/ 2000/Me	— (USBドライバは不要です。)	—
	98SE/98	USB driver Type B (USBドライバです。必ずインストールしてください。)	147
パソコンに自動で画像を保存/画像の管理	Vista/ XP/2000	Photo Loader with HOT ALBUM 3.1 DirectX 9.0c(パソコンにDirectX 9.0以上がないとき)	153
動画の再生	XP/2000	QuickTime 7	154

使用目的	OSのバージョン	インストールするソフト	参照ページ
動画の編集	Vista/ XP/2000	VideoStudioおまかせモード3.2 SE VCD (英語版は、Movie Wizard 3.2 SE VCD) <ul style="list-style-type: none"> ほかにDirectX、Microsoft Windows Media Player、QuickTime 7、Flash Playerが必要です。 	155
	XP/2000	VideoStudio10 Plus for CASIO (体験版) (英語版は、VideoStudio10 Plus for CASIO(Trial Version。)) <ul style="list-style-type: none"> 上記のソフトは体験版ですので、ご使用はインストール後30日間限定です。 ほかにDirectX、Microsoft Windows Media Player、QuickTime 7、Flash Playerが必要です。 	155

使用目的	OSのバージョン	インストールするソフト	参照ページ
動画の編集	Me/ 98SE/98	— • 必要に応じて、市販のソフトをご利用ください。	—
画像の転送	Vista/ XP/ 2000/ Me/ 98SE/98	Photo Transport 1.0	156
取扱説明書を表示	XP/ 2000/ Me/98SE	Adobe Reader 6.0 (すでにインストールされているときは、不要です。)	158
	98	— • パソコンにAdobe ReaderまたはAdobe Acrobat Readerがインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからAcrobat Reader 5.0.5をインストールしてください。	—

■ 同梱ソフト使用時の動作環境について

使用するソフトによってパソコンに必要な動作環境が異なりますので、必ず確認してください。また、各ソフトの動作環境はアプリケーションを動作させるために必要な最低限の性能です。取り扱う画像サイズや枚数によって、これ以上の性能を必要とします。

USB driver Type B

- Windows Vista/XP/2000/Meの場合は、インストールする必要はありません。
- Windows 95/3.1からバージョンアップしたパソコンでは動作保証いたしません。

Photo Loader with HOT ALBUM 3.1

HD : 2GB以上
その他 : DirectX 9.0以上

DirectX 9.0c

HD : インストールに65MB(HDは18MB)

Photo Transport 1.0

メモリ : 64MB以上
HD : 約2MB以上

Adobe Reader 6.0

CPU : Pentium
メモリ : 32MB
HD : 60MB
その他 : IE5.01以上

QuickTime 7

CPU : Pentium以上
メモリ : 128MB以上
OS : Windows 2000 Service Pack 4/XP

VideoStudioおまかせモード3.2 SE VCD (英語版: Movie Wizard 3.2 SE VCD)

CPU : Intel Pentium 4, M, D, Extreme Edition, または
AMD Athlon 64 以上
メモリ : 256MBのRAM (512MB以上推奨)
HD : 250MBの空き領域(プログラムインストール用)ビ
デオキャプチャおよび編集用に4GB以上のハード
ディスクスペース
その他 : 画面の解像度1024×768以上
他にDirectX、Microsoft Windows Media Player、
QuickTime 7、Flash Playerが必要

VideoStudio10 Plus for CASIO(体験版) (英語版:VideoStudio10 Plus for CASIO(Trial Version.))

※30日間限定版

CPU : Intel Pentium 4, M, D, Extreme Edition, または
AMD Athlon 64 以上
メモリ : 512MBのRAM (1GB以上推奨)
HD : 1GBの空き領域(プログラムインストール用)ビデオ
キャプチャおよび編集用に4GB以上のハードディ
スクスペース
その他 : 画面の解像度1024×768以上
他にDirectX、Microsoft Windows Media Player、
QuickTime 7、Flash Playerが必要

重要

- 各ソフトの詳しい動作環境については、付属のCD-ROM
(カシオデジタルカメラアプリケーションソフトウェア)内
の「お読みください」ファイルを参照して、ご確認ください。

■ 英語版のソフトを利用するときは

英語版のソフトを利用したいときは、CD-ROMから英語のソフトをインストールしてください。ただし、日本語版と英語版を2重インストールしないでください。

- 英語版のソフトをインストールするときは、CD-ROMをパソコンにセットして、日本語のMENU画面が表示されたら、“Language”の“English”をクリックします。

画像をパソコンで見る／パソコンに保存する

USBクレードルを介してカメラをパソコンに接続して、画像(静止画や動画などのファイル)をパソコンで見たり、パソコンに保存することができます。

- Windowsのバージョンによっては、付属のCD-ROMからUSBドライバをインストールする必要があります。

操作の流れ

1. Windows 98SE/98の場合、USBドライバをインストールする(147ページ)
Windows Vista/XP/2000/Meの場合は、手順2に進む



2. カメラとパソコンを、USBクレードルを使って接続する(148ページ)



3. 画像ファイルを見る／保存する(150ページ)

■ USBドライバをインストールする (98SE/98の場合のみ)

USBドライバをインストールする前にカメラとパソコンを接続しない!

パソコンがカメラを認識しなくなります。

Windows 98SE/98をお使いの場合、必ず最初にUSBドライバをインストールしてください。

インストールが終わるまで、カメラとパソコンを接続しないでください。

以下の操作手順は、Windows 98の場合です。Windows 98SEの場合、表示画面などが若干異なりますが、操作の流れは同じです。

1. 付属のCD-ROM(カシオデジタルカメラアプリケーションソフトウェア)をパソコンのCD-ROMドライブにセットする
メニュー画面が表示されます。
2. “USB driver B”の“インストール”をクリックする
インストールが始まります。
3. ダイアログの指示にしたがって“次へ”をクリックする

4. 完了の画面が表示されたら、“完了”をクリックする

- セットアップ完了の画面が表示されると、ご使用のOSによってはパソコンの再起動を要求されることがあります。その場合は、再起動させます。

5. インストールが終わったら、“終了”をクリックしてメニューを終了してからCD-ROMを取り出す

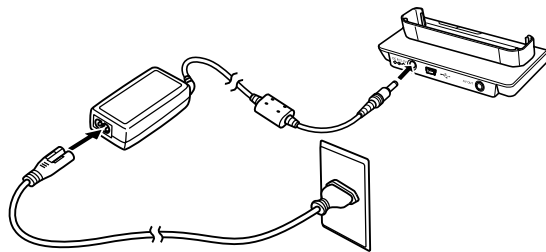
- 機種によってはパソコンが自動的に再起動する場合があります。そのときに、CD-ROMのメニューが表示される場合があります。“終了”をクリックしてメニューを終了してからCD-ROMを取り出してください。

■ カメラとパソコンを接続する

★ 重要

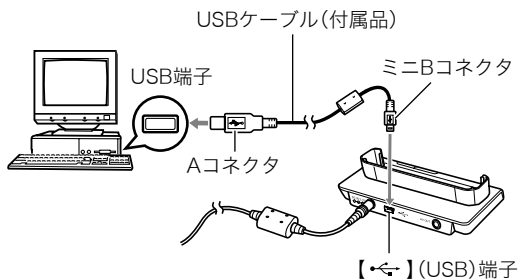
- ACアダプターを使用しないでパソコンとファイルのやりとりを行った場合、電池が消耗していると、操作中にカメラの電源が切れる可能性があります。専用ACアダプターを使用することをおすすめします。

1. 付属のACアダプターをUSBクレードルの【DC IN 5.3V】と家庭用コンセントに接続する



- ACアダプターを使用しないときは、十分に充電された電池を使用してください。

2. 付属のUSBケーブルで、USBクレードルとパソコンのUSB端子を接続する



- USB端子の形状とケーブルの接続端子の形状を合わせて接続してください。
- USBコネクタは奥まで確実に差し込んでください。正しく接続しないと、正常に動作しません。

3. カメラのレンズカバーを開けて電源を入れ、【MENU】を押す

- カメラはまだUSBクレードルにセットしないでください。

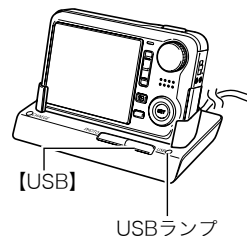
4. “設定”タブ → “USB”と選び、【▶】を押す

5. 【▲】【▼】で“Mass Storage”を選び、【SET】を押す

6. カメラのレンズカバーを閉じて電源を切ってから、カメラをUSBクレードルの上にセットする

- カメラの電源を入れたまま、USBクレードルの上にセットしないでください。
- 内蔵メモリの画像をパソコンに保存する場合は、カメラからメモリーカードを取り出した状態でUSBクレードルにセットしてください。

7. USBクレードルの【USB】を押す



カメラとパソコンを接続すると

USBモードになり、USBクレードルのUSBランプが緑色に点灯します。パソコンは、カメラ内のメモリーカードまたは内蔵メモリーを「リムーバブルディスク」として認識します。

カメラのUSB設定を変更しない限り、次回からは手順3から5の操作は不要です。

- パソコンのOSの環境によっては、「リムーバブルディスク」ガイダンスが表示されることがあります。この場合は、ガイダンスを閉じてください。

重要

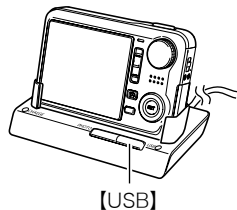
- 「カメラをUSBクレードルからはずす」(152ページ)の操作を行わずにケーブルを抜いたり、カメラをUSBクレードルからはずさないでください。画像データが破壊される恐れがあります。

2回目以降のパソコンとの接続

次にカメラとパソコンを接続するときは、以下のようにします(USBドライバのインストールおよびメニューからの設定が必要になります)。

1. カメラのレンズカバーを閉じて電源を切ってから、カメラをUSBクレードルの上にセットする
2. USBクレードルの【USB】を押す

- USBモードになり、USBクレードルのUSBランプが緑色に点灯します。



カメラの画像をパソコンで見る

カメラとパソコンを接続した状態で、パソコンでカメラの画像を見ることができます。

1. Windows XPの場合:
“スタート”→“マイコンピュータ”の順でクリックする

Windows Vistaの場合:
“スタート”→“コンピュータ”の順でクリックする

Windows 2000/Me/
98SE/98の場合:

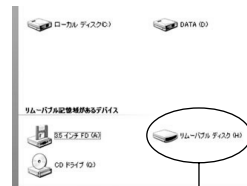
“マイコンピュータ”をダブルクリックする

2. “リムーバブルディスク”をダブルクリックする

- メモリーカードまたは内蔵メモリーは、「リムーバブルディスク」として認識されています。



Windows XPの場合



リムーバブルディスク

3. “DCIM”フォルダをダブルクリックする



4. 見たい画像が入ったフォルダをダブルクリックする



5. 見たい画像ファイルをダブルクリックする

画像が表示されます。

- ファイル名については「メモリー内のフォルダ構造」(166ページ)を参照ください。



参考

- カメラ内で回転表示させた画像をパソコンで見た場合は、回転させる前の画像が表示されます。

■ 画像をパソコンに保存する

パソコンで画像を加工したりアルバムを作るには、画像をパソコン内に保存する必要があります。保存は、カメラをUSBケーブルを介してパソコンに接続した状態でいきます。

1. Windows XPの場合: “スタート”→“マイコンピュータ”の順でクリックする

Windows Vistaの場合:
“スタート”→“コンピュータ”の順でクリックする

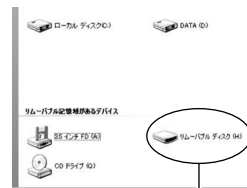
Windows 2000/Me/
98SE/98の場合:
“マイコンピュータ”をダブルクリックする



Windows XPの場合

2. “リムーバブルディスク”をダブルクリックする

- メモリーカードまたは内蔵メモリーは、「リムーバブルディスク」として認識されています。



リムーバブルディスク

3. “DCIM”フォルダを右ボタンでクリックする



4. メニューの“コピー”をクリックする

5. Windows XPの場合:

“スタート”→“マイドキュメント”の順でクリックする

Windows Vistaの場合:

“スタート”→“ドキュメント”の順でクリックする

Windows 2000/Me/98SE/98の場合:

“マイドキュメント”をダブルクリックして開く

- すでに“DCIM”フォルダが保存されている場合は、上書きされてしまいます。すでに保存されている“DCIM”フォルダの名前を変えるなどしてからコピーしてください。

6. “マイドキュメント”メニューで、“編集”→“貼り付け”の順でクリックする

“DCIM”フォルダ(画像ファイルが保存されているフォルダ)が“マイドキュメント”フォルダにコピーされ、画像も一緒にパソコンに保存されます。

重要

- 内蔵メモリーやメモリーカード内の画像に対して、パソコンで修正・削除・移動・名前の変更などを行わないでください。画像管理データと整合性がとれず、カメラで再生できなくなったり、撮影枚数が極端に変わったりします。修正・削除・移動・名前の変更などはパソコンに保存した画像で行ってください。
- 画像を見たり保存している途中でケーブルを抜いたり、カメラやクレードルの操作を行わないでください。データが破壊される恐れがあります。

■ カメラをUSBクレードルからはずす

Windows Vista/XP/98SE/98の場合

USBクレードルの【USB】を押し、USBランプが消灯したのを確認してから、カメラをUSBクレードルから取りはずします。

Windows 2000/Meの場合

パソコン画面のタスクトレイのカードサービスの左クリックし、カメラに割り当てられているドライブ番号の停止を選択します。その後、USBクレードルの【USB】を押し、USBランプが消灯したのを確認してから、カメラをUSBクレードルから取りはずします。

パソコンに自動で画像を保存する／画像を管理する

パソコンに保存した画像を管理するには、付属のCD-ROMに収録されているPhoto Loader with HOT ALBUMをパソコンにインストールします。Photo Loader with HOT ALBUMを使用すれば、パソコンに画像を自動で取り込んで、撮影年月日で整理ができ、カレンダー形式で表示することができます。

■ Photo Loader with HOT ALBUMをインストールする

1. パソコンを起動し、付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる
 - パソコンの設定によっては、自動的にメニュー画面が表示されない場合があります。その場合は、CD-ROMが割り当てられているドライブを開き、MENU.exeをダブルクリックしてください。
2. “Photo Loader with HOT ALBUM 3.1”をクリックして選び、“お読みください”をクリックして読む
 - インストールするために必要な条件や動作環境が書かれています。
3. Photo Loader with HOT ALBUMの“インストール”をクリックする
4. 画面の指示にしたがって操作する
Photo Loader with HOT ALBUMがインストールされます。

DirectXの確認

Photo Loader with HOT ALBUMで取り込んだ画像を管理するには、パソコンにDirectX 9.0以上がインストールされている必要があります。パソコンの「DirectX 診断ツール」を見てDirectXのバージョンを確認してください。

1. パソコンのメニューで“スタート”→“すべてのプログラム”→“アクセサリ”→“システムツール”の順でたどり、“システム情報”を開く
2. メニューバーから“ツール”→“DirectX 診断ツール”の順で開く
3. “システム”タブをクリックし、“DirectX バージョン”が9.0以上であることを確認する
4. “終了”をクリックして「DirectX 診断ツール」を終了する
 - DirectX 9.0以上がインストールされている場合は、付属のCD-ROMに収録されている「DirectX 9.0c」をインストールする必要はありません。
 - DirectX 9.0以上がインストールされていない場合は、付属のCD-ROMに収録されている「DirectX 9.0c」をインストールしてください。

動画を再生する

動画はQuickTime 7以降をインストールすると再生することができます。パソコンに動画をコピーしてから、画像ファイルをダブルクリックして再生してください。



1. パソコンを起動し、付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる

- パソコンの設定によっては、自動的にメニュー画面が表示されない場合があります。その場合は、CD-ROMが割り当てられているドライブを開き、MENU.exeをダブルクリックしてください。

2. “QuickTime 7”をクリックして選び、“お読みください”をクリックして読む

- インストールするために必要な条件や動作環境が書かれています。

3. “QuickTime 7”の“インストール”をクリックする

4. 画面の指示にしたがって操作する

QuickTime 7がインストールされます。

■ 動画再生時の動作環境

カメラで撮影した動画をパソコンで再生する場合、以下の動作環境を推奨します。

OS	: XP/2000
CPU	: Pentium M, 1GHz 以上 Pentium 4, 2GHz 以上

必要なソフトウェア : QuickTime 7, DirectX 9.0c

★ 重要

- 上記の動作環境は推奨の環境であり、動作を保証するものではありません。
- 上記動作環境のパソコンでも、設定状態やインストールされているソフトウェアによっては、正しく動作しない場合があります。

動画を編集する

動画を編集するには、付属のCD-ROMに収録されているVideoStudioおまかせモード3.2 SE VCD(英語版:Movie Wizard 3.2 SE VCD)をパソコンにインストールします。

参考

- 付属のCD-ROMに収録されているVideoStudioおまかせモード3.2 SE VCDはVideo-CDの作成はできますが、DVDの作成はできません。製品版にアップグレード(有料)することでDVDの作成ができるようになります。VideoStudioおまかせモード3.2 SE VCDの機能やバージョンアップについては「お読みください」をご覧ください。

■ VideoStudioおまかせモード3.2 SE VCDをインストールする

1. パソコンを起動し、付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる
 - パソコンの設定によっては、自動的にメニュー画面が表示されない場合があります。その場合は、CD-ROMが割り当てられているドライブを開き、MENU.exeをダブルクリックしてください。
2. “VideoStudioおまかせモード3.2 SE VCD”をクリックして選び、“お読みください”をクリックして読む
 - インストールするために必要な条件や動作環境が書かれています。

3. “VideoStudioおまかせモード3.2 SE VCD”の“インストール”をクリックする

4. 画面の指示にしたがって操作する

- “VideoStudioおまかせモード3.2 SE VCD”がインストールされます。

より高度な編集をおこなう場合は、体験版として下記のアプリケーションを同じようにインストールしてご利用ください。製品版のVideoStudio10との違いは、30日の期間限定版となっています。

VideoStudio10 Plus for CASIO(体験版)
(英語版:VideoStudio10 Plus for CASIO(Trial Version.)
※30日期間限定版

カメラに画像を転送する

パソコンに取り込んだ画像を、もう一度カメラへ戻すには、付属のCD-ROMに収録されているPhoto Transportをパソコンにインストールします。

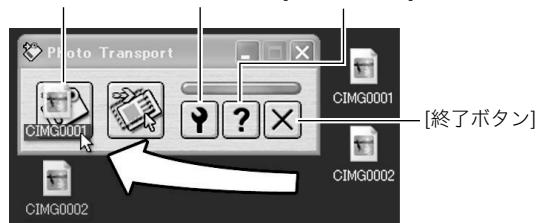
■ Photo Transportをインストールする

1. パソコンを起動し、付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる
 - パソコンの設定によっては、自動的にメニュー画面が表示されない場合があります。その場合は、CD-ROMが割り当てられているドライブを開き、MENU.exeをダブルクリックしてください。
2. “Photo Transport”をクリックして選び、“お読みください”をクリックして読む
 - インストールするために必要な条件や動作環境が書かれています。
3. “Photo Transport”の“インストール”をクリックする
4. 画面の指示にしたがって操作する
Photo Transportがインストールされます。

■ 画像ファイルをカメラに転送する

1. あらかじめカメラをパソコンに接続しておく
 - パソコンとの接続方法は、148ページをご覧ください。
2. パソコンのメニューで“スタート”→“すべてのプログラム”→“Casio”→“Photo Transport”の順でクリックして、Photo Transportを開く
Photo Transportが起動します。
3. Photo Transportの[転送ボタン]に転送したい画像ファイルをドラッグアンドドロップする
ドラッグアンドドロップは次のようにします。転送したい画像ファイルに“” (矢印)を合わせ、マウスの左ボタンを押したままにします。そのままPhoto Transportの[転送ボタン]に画像データを引きずり、マウスの左ボタンを離します。

[転送ボタン] [設定ボタン] [ヘルプボタン]



4. 画面の指示にしたがって操作する

画像ファイルがカメラに転送されます。

- 画面の指示や転送される画像の詳細はPhoto Transportの設定によって異なります。詳しくは[設定ボタン]や[ヘルプボタン]を押して設定内容を確認してください。

重要

- 動画は転送できません。
- 転送できる画像は下記の拡張子の画像データです。
.jpg、.jpeg、.jpe、.bmp (bmpはJPEG画像に変換されて転送されます。)

■ パソコンの画面をカメラに転送する

パソコンに表示されている画面を取り込んで、画像ファイルとしてカメラへ送ることができます。

1. あらかじめカメラをパソコンに接続しておく

- パソコンとの接続方法は、148ページをご覧ください。

- #### 2. パソコンのメニューで“スタート”→“すべてのプログラム”→“Casio”→“Photo Transport”の順でクリックして、Photo Transportを開く
- Photo Transportが起動します。


3. 転送したい画面を表示する

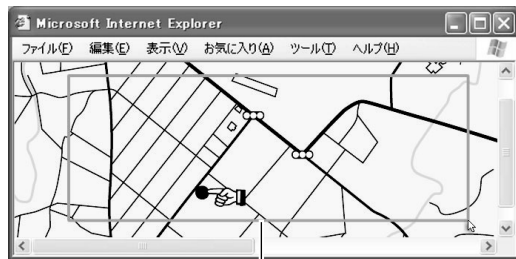
4. Photo Transportの[キャプチャーボタン]をクリックする



[キャプチャーボタン]

5. 転送したい範囲を囲む

転送したい部分の左上に“” (矢印)を移動してマウスの左ボタンを押したままにし、そのままマウスを右下へずらすことで転送したい範囲を囲みます。



転送される範囲

6. 画面の指示にしたがって操作する

囲んだ範囲の画像がカメラに転送されます。

- 画面の指示や転送される画像の詳細はPhoto Transportの設定によって異なります。詳しくは[設定ボタン]や[ヘルプボタン]を押して設定内容を確認してください。

重要

- キャプチャーした画像はJPEG画像に変換されて転送されます。

■ 設定/ヘルプについて

設定内容の変更は[設定ボタン]をクリックして変更します。設定内容、操作方法やトラブルシューティングについては、Photo Transportの[ヘルプボタン]をクリックしてヘルプをご覧ください。

取扱説明書(PDFファイル)を読む

1. パソコンを起動し、付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる

- パソコンの設定によっては、自動的にメニュー画面が表示されない場合があります。その場合は、CD-ROMが割り当てられているドライブを開き、MENU.exeをダブルクリックしてください。

2. “取扱説明書”をクリックして選び、お読みになりたいアプリケーションソフトの名前をクリックする

重要

- 取扱説明書をお読みになるには、パソコンにAdobe ReaderまたはAdobe Acrobat Readerがインストールされている必要があります。インストールされていない場合は、“ソフトのインストール”でAdobe Readerをインストールしてください。

ユーザー登録をする

パソコンからインターネットを通してのみ、ユーザー登録をすることができます。ユーザー登録をするには、パソコンがインターネットに接続されている必要があります。

「カシオデジタルカメラオフィシャルWebサイト」へのユーザー登録となります。ユーザー登録で登録いただいた個人情報のお取り扱いに関しては、Webサイト上の「ご利用になる前に」に記載されていますので、ご確認ください。ユーザー登録はデジタルカメラ本体や付属ソフトのバージョンアップのご連絡その他情報発信を目的としています。付属ソフトウェアについては、ユーザー登録をしなくてもインストールや使用は可能です。

1. パソコンを起動し、付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる

- パソコンの設定によっては、自動的にメニュー画面が表示されない場合があります。その場合は、CD-ROMが割り当てられているドライブを開き、MENU.exeをダブルクリックしてください。

2. “オンラインユーザー登録”をクリックする

Webブラウザソフトが起動し、ユーザー登録が可能になります。

3. 画面の指示にしたがってユーザー登録を行う

4. ユーザー登録が終了したら、インターネットの接続を終了する

- 下記のアドレスからもユーザー登録ができます。
<http://www.casio.jp/reg/dc/>

CD-ROMのメニューを終了する

CD-ROMのメニューを終了するには、“終了”をクリックします。

Macintoshを利用する

Macintosh OSのバージョンおよび使用目的に応じて、必要なソフトをインストールしてください。

使用目的	OSのバージョン	インストールするソフト	参照ページ
• パソコンで画像を見る • パソコンに画像を保存	OS 9/ OS X	• USBドライバは不要です。	160
パソコンに自動で画像を保存／画像の管理	OS 9	• 市販のソフトをご利用ください。	163
	OS X	• OSにバンドルされているiPhotoが利用できます。	—
動画を再生	OS 9	• 動画ファイルは再生できません。	164
	OS X	• OS X v10.3.9以降で、さらにQuickTime 7以降がインストールされていれば再生できます。	

画像をパソコンで見る／パソコンに保存する

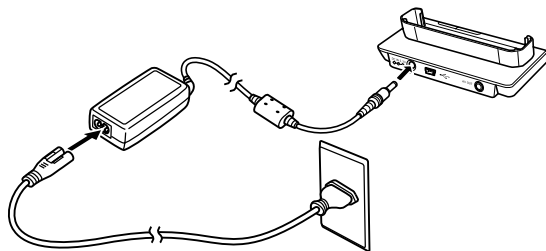
USBクレードルを介してカメラをパソコンに接続し、画像(静止画や動画などのファイル)をパソコンで見たり、パソコンに保存することができます。

重要

- Mac OS 8.6以前、またはMac OS Xの10.0ではご使用できません。Mac OS 9、X(10.1、10.2、10.3、10.4)のみで使用できます(OS標準のUSBドライバを使用)。

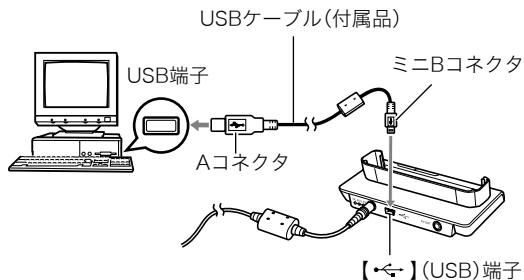
■ カメラとパソコンを接続する

1. 付属のACアダプターをUSBクレードルの【DC IN 5.3V】と家庭用コンセントに接続する



- ACアダプターを使用しないときは、十分に充電された電池を使用してください。

2. 付属のUSBケーブルで、USBクレードルとパソコンのUSB端子を接続する



- USB端子の形状とケーブルの接続端子の形状を合わせて接続してください。
- USBコネクタは奥まで確実に差し込んでください。正しく接続しないと、正常に動作しません。

3. カメラのレンズカバーを開けて電源を入れ、【MENU】を押す

- カメラは、まだUSBクレードルにセットしないでください。

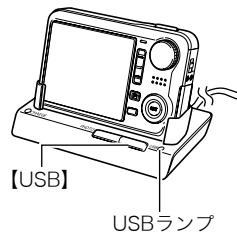
4. “設定”タブ → “USB”と選び、【▶】を押す

5. 【▲】【▼】で“Mass Storage”を選び、【SET】を押す

6. カメラのレンズカバーを閉じて電源を切り、カメラをUSBクレードルの上にセットする

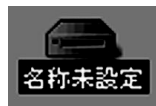
- カメラの電源を入れたまま、USBクレードルの上にセットしないでください。
- 内蔵メモリの画像をパソコンに保存する場合は、カメラからメモリーカードを取り出した状態でUSBクレードルにセットしてください。

7. USBクレードルの【USB】を押す



カメラとパソコンを接続すると

USBモードになり、USBクレードルのUSBランプが緑色に点灯します。パソコンは、カメラ内のメモリーカードまたは内蔵メモリーを「ドライブ」として認識します。Mac OSのバージョンにより、表示されるアイコンが異なる場合があります。カメラのUSB設定を変更しない限り、次回からは手順3から5の操作は不要です。



重要

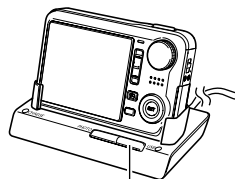
- 「カメラをUSBクレードルからはずす」(163ページ)の操作を行わずにケーブルを抜いたり、カメラをクレードルからはずさないでください。画像のデータが破壊される恐れがあります。

2回目以降のパソコンとの接続

次にカメラとパソコンを接続するときは、以下のようにします(メニューからの設定が不要になります)。

1. カメラのレンズカバーを閉じて電源を切ってから、カメラをUSBクレードルの上にセットする
2. USBクレードルの【USB】を
押す

USBモードになり、USBクレードルのUSBランプが緑色に点灯します。



【USB】

カメラの画像をパソコンで見る

カメラとパソコンを接続した状態で、パソコンでカメラの画像を見ることができます。

1. 表示されたドライブをダブルクリックする
2. 「DCIM」フォルダをダブルクリックする
3. 見たい画像の入ったフォルダをダブルクリックする
4. 見たい画像ファイルをダブルクリックする
画像が表示されます。

重要

- パソコンのモニターに同一の画像を表示したまま放置しないでください。残像現象(画面焼け)の原因になります。

参考

- カメラ内で回転表示させた画像をパソコンで見た場合は、回転させる前の画像が表示されます。

■ 画像をパソコンに保存する

パソコンで画像を加工したりアルバムを作るには、画像をパソコン内に保存する必要があります。保存は、カメラをUSBクレードルを介してパソコンに接続した状態で行います。

1. 表示されたドライブをダブルクリックする
2. 「DCIM」フォルダを保存したいフォルダにドラッグアンドドロップする

「DCIM」フォルダがMacintosh内のフォルダにコピーされます。

- ドラッグアンドドロップとは、マウスのポインタ(矢印)が画像ファイルのアイコン上に重なった状態でマウスのボタンを押し、そのままマウスを移動(ドラッグ)させて、別の場所でマウスのボタンを離す(ドロップ)操作のことをいいます。

★ 重要

- 内蔵メモリーやメモリーカード内の画像に対して、パソコンで修正・削除・移動・名前の変更などを行わないでください。画像管理データと整合性がとれず、カメラで再生できなくなったり、撮影枚数が極端に変わったりします。修正・削除・移動・名前の変更などはパソコンにコピーした画像で行ってください。
- 画面を見たり保存している途中でケーブルを抜いたり、カメラやクレードルの操作を行わないでください。データが破壊される恐れがあります。

■ カメラをUSBクレードルからはずす

1. 画面上のカメラのドライブをゴミ箱へドラッグアンドドロップする
2. USBクレードルの【USB】を押し、USBランプが消灯しているのを確認してから、カメラをUSBクレードルから取りはずす

パソコンに自動で画像を保存する／画像を管理する

Mac OS Xをお使いの場合は、OSにバンドルされているiPhotoを使って静止画像の管理ができます。

Mac OS 9をお使いの場合は、市販のソフトをご利用ください。

動画を再生する

動画はMacintoshにすでにインストールされているQuickTimeで再生することができます。Macintoshに動画をコピーしてから、画像ファイルをダブルクリックして再生してください。



■ 動画再生時の動作環境

カメラで撮影した動画をパソコンで再生する場合、以下の動作環境を推奨します。

OS : Mac OS X v10.3.9以降
QuickTimeバージョン : QuickTime 7以降

★ 重要

- 上記の動作環境は推奨の環境であり、動作を保証するものではありません。
- 上記動作環境のパソコンでも、設定状態やインストールされているソフトウェアによっては、正しく動作しない場合があります。
- OS 9では動画ファイルは再生できません。

ユーザー登録をする

パソコンからインターネットを通してのみ、ユーザー登録をすることができます。「カシオデジタルカメラオフィシャルWebサイト」で登録を行ってください。

ユーザー登録アドレス <http://www.casio.jp/reg/dc/>
ユーザー登録で登録いただいた個人情報のお取り扱いに関しては、Webサイト上の「ご利用になる前に」に記載されていますので、ご確認ください。ユーザー登録はデジタルカメラ本体やその他情報発信を目的としています。

メモリーカードを直接パソコンに接続して画像を保存する

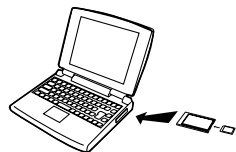
パソコンの機種によって接続方法が異なります。代表的な接続方法は次の通りです。接続後はUSBクレードル経由の接続時と同様の操作で画像の保存ができます。

■ メモリーカードスロットのある機種

ご使用のメモリーカードに対応しているかご確認のうえ、メモリーカードを直接差し込みます。

■ PCカードスロットのある機種

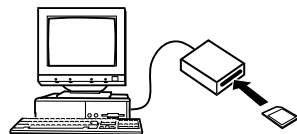
ご使用のメモリーカードに対応した市販のPCカードアダプターを使用します。具体的な使用方法は、PCカードアダプターとパソコンに付属の取扱説明書を参照ください。



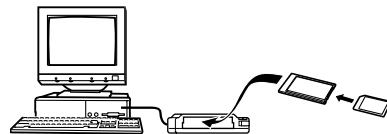
■ 前記以外の機種

以下のどちらかの方法で接続します。

- ご使用のメモリーカードに対応した市販のメモリーカード用リーダー/ライターを使用します。具体的な使用方法は、メモリーカード用リーダー/ライターに付属の取扱説明書を参照ください。



- 市販のPCカード用リーダー/ライターとご使用のメモリーカード



に対応した市販のPCカードアダプターを使用します。具体的な使用方法は、PCカード用リーダー/ライターとPCカードアダプターに付属の取扱説明書を参照ください。

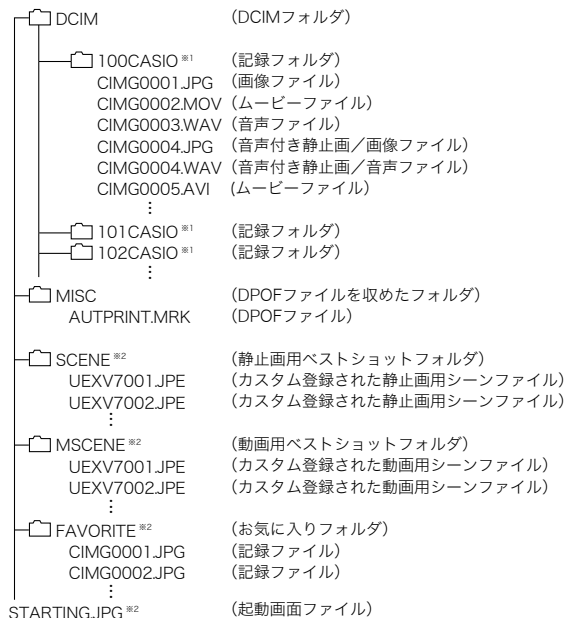
メモリー内のデータについて

本機で撮影された画像やその他のデータは、DCF (Design rule for Camera File system) 規格に準拠した方法でメモリーへ保存されます。

■ DCF規格について

DCF規格対応の機器(デジタルカメラやプリンターなど)の間で画像の互換性があります。画像ファイルのデータ形式やメモリー内のフォルダ構造に規定がありますので、本機で撮影した画像をDCF規格対応の他社のカメラで見たり、この規格対応の他社のプリンターで印刷したりすることができます。逆にDCF規格対応の他社のデジタルカメラの画像も本機で見ることができます。

■ メモリー内のフォルダ構造



※1 本機のベストショットモードにはオークションサイトへの出品品を撮影する“オークション”のシーンを収録しています。このシーンで撮影した場合、記録フォルダ名は「100_AUCT」となります。

※2 内蔵メモリー内のみ作成されるフォルダです。

フォルダ／ファイルの内容

- DCIMフォルダ:
カメラで扱うファイルすべてを収めたフォルダです。
- 記録フォルダ:
カメラで記録したファイルを収めたフォルダです。
- 画像ファイル:
カメラで撮影した画像ファイルです。拡張子は「JPG」です。
- ムービーファイル:
カメラで撮影したムービーファイルです。拡張子は「MOV」または「AVI」です。
- 音声ファイル:
カメラで記録した音声ファイルです。拡張子は「WAV」です。
- 音声付き静止画／画像ファイル:
音声付き静止画の画像を記録したファイルです。拡張子は「JPG」です。
- 音声付き静止画／音声ファイル:
音声付き静止画の音声を記録したファイルです。拡張子は「WAV」です。
- DPOFファイルを取めたフォルダ:
DPOFファイルなどを収めたフォルダです。
- 静止画用ベストショットフォルダ:
カスタム登録された静止画用シーンファイルを収めたフォルダです。
- カスタム登録された静止画用シーンファイル:
ベストショットモードの静止画撮影で使用されるファイルです。

- 動画用ベストショットフォルダ
カスタム登録された動画用シーンファイルを収めたフォルダです。
- カスタム登録された動画用シーンファイル
ベストショットモードの動画撮影で使用されるファイルです。
- お気に入りフォルダ:
お気に入りの画像ファイルを収めたフォルダです。320×240 pixelsの画像として収められています。
- 起動画面ファイル:
起動画面を記録したファイルです。起動画面を設定した場合に作成されます。

■ このカメラで扱える画像ファイル

- 本機で撮影した画像ファイル
- DCF規格に対応している画像ファイル

DCF規格の画像ファイルでも、使用できない機能がある場合があります。また、本機以外で撮影された画像の場合、再生にかかる時間が長くなる場合があります。

■ パソコン上で内蔵メモリー／メモリーカードを扱うときのご注意

- メモリーの内容をパソコンのハードディスクやCD-R、MOディスクなどに保存する際は“DCIM”フォルダごと保存してください。その際“DCIM”フォルダの名前を年月日などに変えておくと、あとで整理するときに便利です。ただし、パソコンのハードディスクなどに保存したファイルを再度メモリーに戻して本機で再生する場合は、フォルダ名をパソコン上で“DCIM”に戻してからご使用ください。本機では“DCIM”以外の名前フォルダは認識されません。“DCIM”フォルダ内の他のフォルダ名を変えた場合も同様です。元の名前に戻してから使用してください。
- フォルダやファイルをカメラで正しく認識させるためには、メモリー内のフォルダ構造が166ページのフォルダ構造の通りである必要があります。

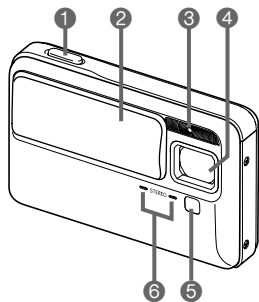
付録

各部の名称

各部の説明が記載されている主なページを()内に示します。

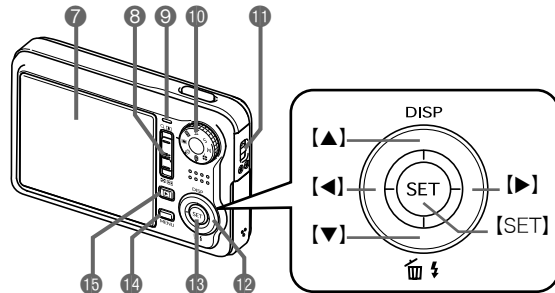
■ カメラ本体

前面



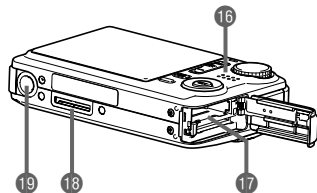
- ① シャッター(40ページ)
- ② レンズカバー(28ページ)
- ③ フラッシュ(49ページ)
- ④ レンズ
- ⑤ AF補助光/撮影ライト
セルフタイマーランプ
(39, 44, 52, 83, 176ページ)
- ⑥ マイク(56, 63ページ)

後面



- ⑦ 液晶モニター(36ページ)
- ⑧ ズームレバー
(47, 104, 105ページ)
- ⑨ 動作確認用ランプ
(29, 40, 176ページ)
- ⑩ モードダイヤル
(38ページ)
- ⑪ ストラップ取り付け部
(2ページ)
- ⑫ コントロールボタン
([▲][▼][◀][▶])
- ⑬ 【SET】ボタン
(34ページ)
- ⑭ 【MENU】ボタン
(34ページ)
- ⑮ 【▶】(再生)ボタン
(29, 134ページ)

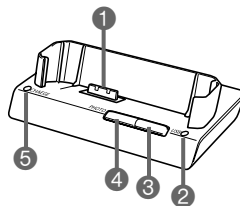
底面



- 16 スピーカー(97ページ)
- 17 電池/メモリーカード挿入部(24, 32ページ)
- 18 クレードル接続端子(25ページ)
- 19 三脚穴
三脚に取り付けるときに使用します。

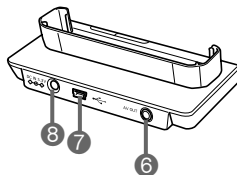
■ USBクレードル

前面



- 1 カメラ接続端子
(25ページ)
- 2 USBランプ
(149, 161, 177ページ)
- 3 【USB】ボタン
(139, 149, 161ページ)
- 4 【PHOTO】ボタン
(100, 102ページ)
- 5 【CHARGE】ランプ
(25, 177ページ)

後面



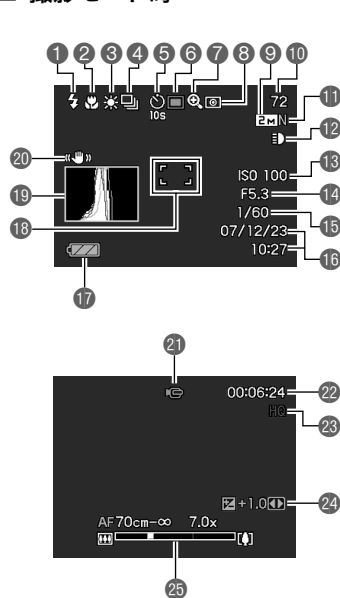
- 6 【AV OUT】(AV出力)端子
(101ページ)
- 7 【↔】(USB)端子
(138, 149, 161ページ)
- 8 【DC IN 5.3V】(外部電源)
端子(25ページ)

液晶モニターの表示内容

液晶モニターには、さまざまな情報が、アイコンや数字などで表示されます

- 下の画面は、情報が表示される位置を示すためのものです。液晶モニターが実際にこの画面のようになることはありません。

■ 撮影モード時

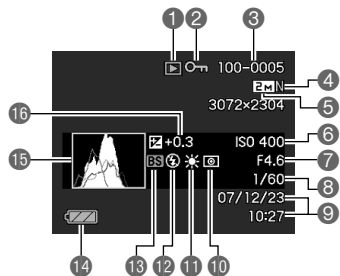


- 1 フラッシュモード (49ページ)
- 2 フォーカス方式 (76ページ)
- 3 ホワイトバランス設定 (86ページ)
- 4 連写モード (54ページ)
- 5 セルフタイマーモード (52ページ)
- 6 撮影の種類
- 7 デジタルズーム表示 (48ページ)
- 8 測光方式 (88ページ)
- 9 静止画の画像サイズ (42ページ)
- 10 静止画撮影可能枚数 (185ページ)
- 11 静止画の画質 (43ページ)
- 12 撮影ライト (83ページ)
- 13 ISO感度 (87ページ)
- 14 絞り値 (41, 58, 60ページ)
- 15 シャッター速度 (41, 59, 60ページ)
- 16 日付/時刻 (131ページ)
- 17 電池残量 (26ページ)
- 18 フォーカスフレーム (40, 79ページ)
- 19 ヒストグラム (91ページ)
- 20 プレ軽減 (82ページ)
- 21 撮影の種類
- 22 動画の残り撮影時間 (62ページ)
- 23 動画の画質 (61ページ)
- 24 露出補正 (84ページ)
- 25 スムバー (48ページ)

★ 重要

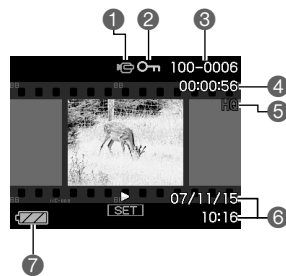
- 絞り値、シャッター速度、ISO感度は、AE(自動露出)が適正でない場合、シャッターを半押ししたとき、オレンジ色で表示されます。ただし、“プレ軽減”を“オート”に設定した場合は表示されません (82ページ)。

■ 静止画再生モード時



- ① ファイル形態(96ページ)
- ② プロテクト表示(123ページ)
- ③ フォルダ名/ファイル名(122ページ)
- ④ 静止画の画質(43ページ)
- ⑤ 静止画の画像サイズ(42ページ)
- ⑥ ISO感度(87ページ)
- ⑦ 絞り値(41, 58, 60ページ)
- ⑧ シャッター速度(41, 59, 60ページ)
- ⑨ 日付/時刻(131ページ)
- ⑩ 測光方式(88ページ)
- ⑪ ホワイトバランス設定(86ページ)
- ⑫ フラッシュモード(49ページ)
- ⑬ 撮影の種類
- ⑭ 電池残量表示(26ページ)
- ⑮ ヒストグラム(91ページ)
- ⑯ 露出補正(84ページ)

■ 動画再生モード時



- ① ファイル形態(97ページ)
- ② プロテクト表示(123ページ)
- ③ フォルダ名/ファイル名(122ページ)
- ④ 動画の撮影時間(97ページ)
- ⑤ 動画の画質(61ページ)
- ⑥ 日付/時刻(131ページ)
- ⑦ 電池残量表示(26ページ)

メニュー一覧表

【MENU】を押したときに表示されるメニューの一覧表です。撮影モード、再生モードでそれぞれ項目が異なります。

- 「*」この印のある項目は初期値です。

撮影モード

■ “撮影設定”タブ

フォーカス方式	AF (オートフォーカス)* / マクロ / (無限遠) / MF (マニュアルフォーカス)
連写	通常連写 / 高速連写 / フラッシュ連写 / 切*
セルフタイマー	10秒 / 2秒 / ×3 / 切*
ブレ軽減	オート / 手ブレ補正* / 被写体ブレ / 手ブレDEMO / 切
撮影ライト	入 / 切*
AFエリア	スポット* / マルチ / 追尾
AF補助光	入* / 切
デジタルズーム	入* / 切
左右キー設定	連写 / EVシフト / ホワイトバランス / ISO感度 / セルフタイマー / 切*
クイックシャッター	入 / 切*
音声付静止画	入 / 切*

グリッド表示	入 / 切*
撮影レビュー	入* / 切
アイコンガイド	入* / 切
モードメモリ	フラッシュ: 入* / 切 フォーカス方式: 入 / 切* ホワイトバランス: 入 / 切* ISO感度: 入 / 切* AFエリア: 入* / 切 測光方式: 入 / 切* セルフタイマー: 入 / 切* フラッシュ光量: 入 / 切* デジタルズーム: 入* / 切 MF位置: 入 / 切* ズーム位置: 入 / 切*

■ “画質設定”タブ

サイズ	7M(3072×2304)* / 3:2(3072×2048) / 5M(2560×1920) / 3M(2048×1536) / 2M(1600×1200) / VGA(640×480)
画質(静止画)	高精細-F / 標準-N* / エコノミー-E
画質(動画)	UHQ / UHQワイド / HQ* / HQワイド / Normal / LP
EVシフト	-2.0 / -1.7 / -1.3 / -1.0 / -0.7 / -0.3 / 0.0* / +0.3 / +0.7 / +1.0 / +1.3 / +1.7 / +2.0

ホワイトバランス	オート* / 太陽光 / 曇天 / 日陰 / N昼白色 / D昼光色 / 電球 / マニュアル
ISO感度	オート* / ISO 50 / ISO 100 / ISO 200 / ISO 400 / ISO 800
測光方式	マルチ* / 中央重点 / スポット
ダイナミックレンジ	拡大+2 / 拡大+1 / 切*
美肌処理	ノイズ消去+2 / ノイズ消去+1 / 切*
カラーフィルター	切* / 白黒 / セピア / 赤 / 緑 / 青 / 黄 / ピンク / 紫
シャープネス	+2 / +1 / 0* / -1 / -2
彩度	+2 / +1 / 0* / -1 / -2
コントラスト	+2 / +1 / 0* / -1 / -2
フラッシュ光量	+2 / +1 / 0* / -1 / -2
フラッシュアシスト	オート* / 切













■ “設定”タブ

液晶設定	オート2* / オート1 / +2 / +1 / 切
操作音	起動音* / ハーフシャッター / シャッター / 操作音 / 操作音 / 再生音
起動画面	入 (画像選択) / 切*
ファイルNo.	メモリする* / メモリしない

ワールドタイム	自宅* / 訪問先
	ホームタイムの詳細設定 (都市名、サマータイムなど)
	ワールドタイムの詳細設定 (都市名、サマータイムなど)
タイムスタンプ	日付 / 日付+時刻 / 切*
日時設定	日付と時刻の設定
表示スタイル	年/月/日 / 日/月/年 / 月/日/年
Language	画面のメッセージ言語の変更
スリープ	30秒 / 1分* / 2分 / 切
オートパワーオフ	1分 / 2分* / 5分
パワーオン	パワーオン* / 長押しオン / 切
USB	Mass Storage (USB DIRECT-PRINT)* / PTP (PictBridge)
ビデオ出力	NTSC 4:3* / NTSC 16:9 / PAL 4:3 / PAL 16:9
フォーマット	フォーマット / キャンセル*
リセット	リセット / キャンセル*

再生モード

■ “再生機能”タブ

スライドショー	開始* / 表示画像 / 時間 / 間隔 / エフェクト / キャンセル
レイアウト プリント	—
モーション プリント	9コマで作成* / 1コマで作成 / キャンセル
 手ブレ補正	入 / 切*
ムービーカット	  (前)カット /   (中)カット /   (後)カット / キャンセル*
ダイナミック レンジ	拡大+2 / 拡大+1 / 切*
ホワイト バランス	 太陽光 /  曇天 /  日陰 /  N昼白色 /  D昼光色 /  電球 / キャンセル
明るさ編集	+2 / +1 / 0* / -1 / -2
アングル補正	—
退色補正	—
カレンダー表示	—
お気に入り	表示* / 登録 / キャンセル

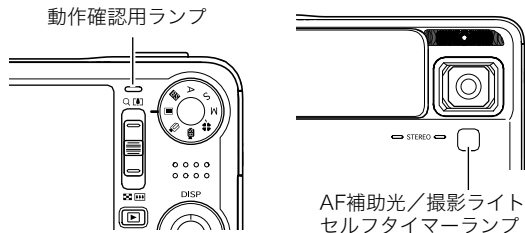
プリント設定 (DPOF)	選択画像* / 全画像 / キャンセル
プロテクト	オン* / 全ファイル オン / キャンセル
日時編集	—
回転表示	回転* / キャンセル
リサイズ	5M(2560×1920) / 3M(2048×1536)* / VGA(640×480) / キャンセル
トリミング	—
アフレコ	—
コピー	内蔵→カード* / カード→内蔵 / キャンセル

■ “設定”タブ

- 再生モードの“設定”タブの内容は、撮影モードの“設定”タブと同じです。

ランプの状態と表示内容

カメラ本体には動作確認用ランプとAF補助光／撮影ライト／セルフタイマーランプの2つのランプがあります。これらのランプは、カメラの動作内容によって、点灯したり点滅したりします。



撮影モード時

動作確認用ランプ		内容
色	状態	
緑	点灯	起動中(電源オン時)／オートフォーカス合焦／LCDオフ／スリープ中
	点滅	ムービー取り込み中／画像処理中／撮影記録中／オートフォーカス合焦不可／フォーマット中／終了中(電源オフ時)
赤	点灯	メモリーカードロック／フォルダ作成不可／メモリーフル／書き込みエラー
	点滅	メモリーカード異常／メモリーカード未フォーマット／カスタム登録不可／電池交換警告
オレンジ	点滅	フラッシュ充電中

AF補助光／ 撮影ライト／ セルフタイマーランプ		内容
色	状態	
白	点滅	セルフタイマーカウントダウン

重要

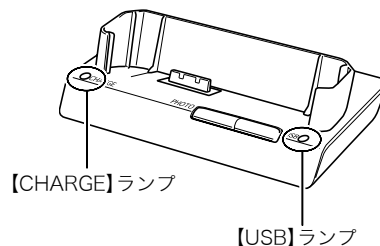
- 動作確認用ランプが緑色に点滅中にメモリーカードを取り出すことは絶対におやめください。撮影された画像がメモリーカードに記録されずに消えてしまいます。

再生モード時

動作確認用ランプ		内容
色	状態	
緑	点灯	起動中(電源オン時)
	点滅	消去実行中/DPOF実行中/ プロテクト実行中/コピー実行中/ フォーマット中/リサイズ処理中/ トリミング処理中/アフレコ処理中/ アングル補正中/退色補正中/ モーションプリント処理中/ ムービーカット処理中/終了中(電源オフ時)
赤	点灯	メモリーカードロック/フォルダ作成不可/ メモリーフル/書き込みエラー
	点滅	メモリーカード異常/ メモリーカード未フォーマット/ 電池交換警告

USBクレードルのランプ

USBクレードルには【CHARGE】と【USB】の2つのランプがあります。これらのランプは、USBクレードルの動作内容によって、点灯したり点滅したりします。




【CHARGE】ランプ		【USB】ランプ		内容
色	状態	色	状態	
赤	点灯			充電中
緑	点灯			充電終了
緑	点滅			充電待機中
赤	点滅			充電エラー
		緑	点灯	USB接続状態
		緑	点滅	メモリーアクセス中

故障かな？と思ったら

現象と対処方法

現象	対処
電源について	
電源が入らない。	1) 電池が正しい向きに入っていない(24ページ)。 2) 電池が消耗している可能性があります。電池を充電してください(24ページ)。それでもすぐに電池が消耗するときは電池の寿命です。別売の当社のリチウムイオン充電電池(NP-50)をお買い求めください。
充電できない	電池が正しい向きに入っていない(24ページ)。
電源が勝手に切れた。	1) オートパワーオフが働いた可能性があります(29ページ)。再度電源を入れ直してください。 2) 電池が消耗している可能性があります。電池を充電してください(24ページ)。
電源が切れない。ボタンを押しても、カメラが動作しない。	カメラから電池をいったん取り出し、再度入れ直してください。
撮影について	
シャッターを押しても撮影できない。	1) 再生モードになっている場合は、シャッターまたは【▶】(再生)を押して撮影モードにしてください。 2) フラッシュの充電中は、フラッシュの充電が終わるまで待ってください。 3) “メモリがいっぱいです”と表示されている場合は、パソコンに画像を転送後、不要な画像を消去するか、別のメモリーカードをセットしてください。
オートフォーカスなのにピントが合わない。	1) レンズが汚れている場合は、レンズの汚れを取ってください。 2) 被写体がフォーカスフレームの中央にありません。 3) ピントの合いにくい被写体の可能性があります(46ページ)。マニュアルフォーカスモードに切り替えて手でピントを合わせてください(81ページ)。 4) 手ぶれしている可能性がありますので、ブレ軽減の撮影状態に設定してください(82ページ)。または、三脚を使用してください。 5) シャッターを半押しせず、クイックシャッターで撮影した場合にピントが合わない場合があります。シャッターの半押しを確実に行ってピントを合わせてください。
撮影した画像の被写体がボケている。	ピントが合っていない可能性があります。ピントを合わせたい被写体にフォーカスフレームを合わせて撮影してください。

現象	対処
フラッシュが発光しない。	1) フラッシュの発光方法が「  」(発光禁止)になっている場合は、発光方法を他の方法に切り替えてください(49ページ)。 2) 電池が消耗している場合は、電池を充電してください(24ページ)。 3) ベストショットモードでフラッシュが「  」(発光禁止)のシーンを選んでいる場合は、必要に応じてフラッシュの発光方法を切り替えるか(49ページ)、撮影したいシーンを選び直して(66ページ)ください。
撮影ライトやフラッシュが数回点滅する。	フラッシュの発光方法が「  」(フラッシュオート)や「  」(赤目軽減)の場合、人の目が赤く写る現象を軽減するために、撮影ライト→フラッシュのプリ発光→フラッシュ発光の順で発光します(49ページ)。
セルフタイマーでの撮影の途中で電源が切れた。	電池が消耗している可能性があります。電池を充電してください(24ページ)。
液晶モニターに表示される画像のピントがあまい。	1) マニュアルフォーカスモードでピント合わせがずれています。ピントを正しく合わせてください(81ページ)。 2) 被写体が風景や人物なのに「  」(マクロモード)になっています。風景や人物を撮影する場合は、オートフォーカスモードにしてください(77ページ)。 3) 接写しているのに、オートフォーカスモードや「  」(無限遠モード)になっています。接写撮影をする場合は「  」(マクロモード)にしてください(78ページ)。
液晶モニターに表示される画面に縦線が入る。	極端に明るい被写体を撮影すると、液晶モニター上の画像に、縦に尾を引いたような光の帯が表示される場合があります(スマア現象)。これはCCD特有の現象で、故障ではありません。なお、この帯は静止画には記録されませんが、動画にはそのまま記録されますので、ご注意ください。
画像にノイズが入る。	1) 被写体が暗いとカメラの感度が自動的に上がるため、ノイズが発生する場合があります。ライトなどを使用して明るくして撮影してください。 2) 暗い場所でフラッシュを「  」(発光禁止)にして撮影すると、ノイズが発生し、多少ざらついた感じになることがあります。その場合は、フラッシュの発光方法を切り替えるか(49ページ)、別途、ライトなどを使用して明るくして撮影してください。 3) 静止画撮影でフラッシュアシスト機能、またはダイナミックレンジ機能を使うと、ノイズが増えることがあります。ライトなどを使用して明るくして撮影してください。
撮影したのに画像が保存されていない	1) 記録が終了する前に電池切れになった場合、画像は保存されません。電池残量表示が「  」になったら、速やかに電池を充電してください(24ページ)。 2) 記録が終了する前にメモリーカードを抜いた場合、画像は保存されません。記録が終了する前にメモリーカードを抜かないでください。
風景が明るいのに人物の顔が暗くなってしまった。	人物が光量不足です。フラッシュを「  」(強制発光)にしてください(日中シンクロ撮影)(49ページ)。または、EVシフトを+側に調整してください(84ページ)。

現象	対処
海岸やスキー場で撮影すると被写体が暗くなる。	海岸や雪面からの強い光の反射に露出が合っているため、露出不足になっています。フラッシュを「  」（強制発光）にしてください(日中シンク口撮影)(49ページ)。または、EVシフトを+側に調整してください(84ページ)。
デジタルズーム(HDズーム含む)が効かない。ズームバーが7.0倍までしか表示されない。	1) “レイアウトショット” “オートフレーミング” “古い写真を写します” など、一部のベストショットシーンではHDズームが働きません。 2) タイムスタンプを使用していると、デジタルズームが使用できません。タイムスタンプの設定を“切”にしてください(90ページ)。
動画撮影中に画像がぼける。	1) 撮影範囲外のためピントが合っていません。撮影範囲内で撮影してください。 2) ピントの合いにくい被写体を撮影している可能性があります(46ページ)。 3) レンズが汚れている可能性があります。清掃してください(22ページ)。
再生について	
再生した画像の色が撮影時に液晶モニターで見た色と違う。	太陽光など光源からの直接光がレンズに当たっている可能性があります。直接光がレンズに当たらないようにしてください。
画像が表示されない。	DCF規格に準拠していない他のデジタルカメラで撮影したメモリーカードを使用した場合は、ファイル管理形式が異なるため再生できません。
画像編集(レイアウトプリント、リサイズ、トリミング、アングル補正、退色補正、日時編集、回転、ホワイトバランス、明るさ編集)ができない。	次の画像は編集できません。 <ul style="list-style-type: none"> ● モーションプリント機能で作成した画像 ● 動画 ● 他のカメラで撮影した画像

現象	対処
その他	
画面に表示される日時が合っていない。	日時の設定が間違っているので、日時を設定し直してください(131ページ)。
画面に表示される言葉が外国語になっている。	表示言語の設定が間違っているので、表示言語を設定し直してください(132ページ)。
パソコンにUSB接続しても画像が取り込めない。	<ol style="list-style-type: none"> 1) USBケーブルが確実に接続されていない可能性があります。コネクタ端子部を確認して、確実に接続してください。 2) USBドライバがインストールされていない可能性があります。USBドライバをインストールしてください(147ページ)。 3) USBドライバが間違っインストールされてしまった可能性があります。USBドライバを正しくインストールし直してください(147ページ)。 4) USB通信の方法が正しく設定されていない可能性があります。USB通信の方法を接続する機器に合わせて正しく設定してください(133ページ)。 5) カメラの電源が入っていない場合は、電源を入れてください。
カメラの電源を入れると、言語設定画面が表示される。	<ol style="list-style-type: none"> 1) ご購入直後の初期設定をしていないか、電池が消耗した状態でカメラを放置しています。各設定を確実に行ってください(9、131ページ)。 2) カメラ内部のメモリー管理エリアが壊れている恐れがあります。この場合は、リセット操作によりカメラの設定内容を初期値に戻してください(95ページ)。その後、各設定を確実に行ってください。再度カメラの電源を入れたときに言語設定画面が表示されなければ、カメラ内部のメモリー管理エリアが修復されました。再度電源を入れても言語設定画面が表示される場合は、カシオテクノ修理相談窓口またはお買い上げの販売店にお問い合わせください(202ページ)。

USBドライバを正しくインストールできない場合は

Windows 98SE/98でUSBドライバをインストールしようとしたが、正しくインストールできない場合は、次のような原因が考えられます。

■ 考えられる原因

- 1) Windows 98SE/98を使用しているパソコンで、付属のCD-ROM(カシオデジタルカメラアプリケーションソフトウェア)からUSBドライバをインストールする前にUSBクレードルを介してカメラを接続したことなどにより、別のドライバをインストールしてしまった。
- 2) 他の原因で正しくUSBドライバがインストールできなかった。

■ 対処方法

パソコンとデジタルカメラをUSB接続して、「マイコンピュータ」を開いても「リムーバブルディスク」が表示されない場合は、以下の手順で「不明なデバイス」を削除してから再インストールしてください。

- ① パソコンとカメラをUSBクレードルを介して接続する
- ② カメラの電源を入れる
- ③ スタートメニューから「設定」→「コントロールパネル」→「システム」→「デバイスマネージャ」タブを選択し、「種類別に表示」を選択して一覧から「不明なデバイス」を探し削除する
- ④ 「不明なデバイス」を削除したらカメラの電源を切り、USBケーブルを抜く

- ⑤ パソコンを再起動し、147ページの操作にしたがって付属のCD-ROM(カシオデジタルカメラアプリケーションソフトウェア)からUSBドライバを再インストールする

重要

- 詳しい情報につきましては、付属のCD-ROM(カシオデジタルカメラアプリケーションソフトウェア)に収録されている「USB driver Type B」の「お読みください」をお読みいただくか、カシオデジタルカメラオフィシャルWebサイト(<http://dc.casio.jp/>)をご覧ください。

画面に表示されるメッセージ

圧縮に失敗しました	画像データ記録中に圧縮不可能状態のときに表示されます。撮影し直してください。
インクを補充してください	プリント時に、プリンターのインクが減っている、またはインクが切れている場合に表示されます。
お気に入りのファイルがありません	お気に入りフォルダにファイルが登録されていないときに表示されます。

カードが異常です	<p>メモリーカードに異常が発生したときに表示されます。電源を切って、メモリーカードを差し直してください。再度電源を入れても同じメッセージが表示される場合は、フォーマットしてください(33ページ)。</p> <p>重要</p> <ul style="list-style-type: none"> フォーマットを行うとメモリーカード内のすべての内容(ファイル)が消えてしまいます。フォーマットを行う前にパソコン等を利用して、メモリーカード内の正常なファイルを保存してください。
カードがフォーマットされていません	メモリーカードがフォーマットされていないときに表示されます。メモリーカードをフォーマットしてください(33ページ)。
カードがロックされています	SDメモリーカードまたはSDHCメモリーカードに付いているLOCKスイッチがロックされている状態です。この状態では、記録、消去などファイルを操作することができません。
この機能は使用できません	カメラにメモリーカードを入れない状態で、内蔵メモリーからメモリーカードへファイルをコピーしようとしたときに表示されます(125ページ)。

この画面は補正できませんでした	補正が実行できなかった場合に表示されます。補正せずに画像が保存されます(71ページ)。
このファイルではこの機能は使用できません	各種機能が実行できなかった場合に表示されます。
このファイルは再生できません	ファイルが壊れているか、本機で表示できないファイルを表示しようとしています。
これ以上登録できません	ベストショットモードで「SCENE」フォルダの中にファイルが999シーンある状態でカスタム登録しようとした場合に表示されます。または、9999のお気に入りのファイルがすでにある状態で、さらにお気に入りのファイルを登録しようとした場合に表示されます(68、124ページ)。
設定したファイルが見つかりません	スライドショーの“表示画面”で設定した画像が見つからないときに表示されます。もう一度設定し直してください(99ページ)。
接続エラー	<ul style="list-style-type: none"> プリンター接続時に、カメラのUSB設定がプリンターのUSB接続方式と合っていない場合に表示されます(133ページ)。 パソコン接続時に、USBドライバがインストールされていない場合に表示されます(147ページ)。

手ブレ補正ユニットが使用できません	手ブレ補正ユニットが故障している可能性があります。再度電源を入れても同じメッセージが表示される場合は、カシオテクノ修理相談窓口またはお買い上げの販売店にお問い合わせください(202ページ)。
電池容量が無くなりました	電池がなくなったときに表示されます。
電池容量が無くなりました ファイルが保存されませんでした	電池がなくなったため、撮影した画像ファイルが保存されませんでした。
登録可能な画像がありません	ベストショットモードで登録できる画像がないときに表示されます。
ファイルがありません	まだ何も記録していない状態、または記録内容をすべて消去して本機にファイルが一つもない状態です。
フォルダが作成できません	999番のフォルダの中に9999番のファイルが登録されている状態で、撮影しようとしたときに表示されます。撮影を続けるには、不要なファイルを消去する必要があります(127ページ)。

プリントする画像がありません DPOF設定してください	プリントする画像が指定されていないときに表示されます。DPOFの設定を行ってください(140ページ)。
プリントエラー	プリント中のエラー時に表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> ● プリンター電源オフ、 ● プリンター本体のエラー、など
メモリがいっぱいです	撮影可能枚数を使い切った場合、または編集後のファイルを保存できるメモリーの空きがない場合に表示されます。不要なファイルを消去してください(127ページ)。
用紙を補充してください	プリント時に、プリンターの用紙が切れている場合に表示されます。
レンズエラー	レンズが予期せぬ動作をしたとき、このメッセージが表示され、電源が切れます。再度電源を入れても同じメッセージが表示される場合は、カシオテクノ修理相談窓口またはお買い上げの販売店にお問い合わせください(202ページ)。
SYSTEM ERROR	カメラのシステムが壊れていますので、カシオテクノ修理相談窓口またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

主な仕様／別売品

主な仕様

品名.....デジタルカメラ

機種名.....EX-V7

■ カメラ機能

記録画像ファイル

フォーマット.....静止画：JPEG (Exif Ver.2.2)、DCF (Design rule for Camera File system) 1.0
準拠、DPOF対応

動画：MOV形式、H.264/AVC準拠
※ 画質が“LP”の場合はAVI形式、
Motion JPEG準拠で記録されます。

音声：WAV

記録媒体.....内蔵メモリー11.6MB
SDHCメモリーカード (SDHC Memory Card)
SDメモリーカード (SD Memory Card)
マルチメディアカード (MMC)
マルチメディアカードプラス (MMC*plus*)

記憶容量

- 静止画

画像サイズ (pixels)	画質	画像ファイルサイズ	内蔵メモリー 11.6MB	SDメモリーカード ※256MB
7M (3072×2304)	高精細-F	約 4.3 MB	約 2 枚	約 56 枚
	標準-N	約 2.31 MB	約 5 枚	約 105 枚
	エコノミー-E	約 1.57 MB	約 7 枚	約 155 枚
3:2 (3072×2048)	高精細-F	約 3.73 MB	約 3 枚	約 65 枚
	標準-N	約 2.02 MB	約 5 枚	約 120 枚
	エコノミー-E	約 1.38 MB	約 8 枚	約 176 枚
5M (2560×1920)	高精細-F	約 2.99 MB	約 3 枚	約 81 枚
	標準-N	約 1.62 MB	約 7 枚	約 150 枚
	エコノミー-E	約 1.12 MB	約 10 枚	約 217 枚
3M (2048×1536)	高精細-F	約 2.0 MB	約 5 枚	約 121 枚
	標準-N	約 1.15 MB	約 10 枚	約 211 枚
	エコノミー-E	約 720 KB	約 16 枚	約 338 枚
2M (1600×1200)	高精細-F	約 1.26 MB	約 9 枚	約 193 枚
	標準-N	約 790 KB	約 14 枚	約 308 枚
	エコノミー-E	約 470 KB	約 25 枚	約 518 枚
VGA (640×480)	高精細-F	約 330 KB	約 35 枚	約 738 枚
	標準-N	約 190 KB	約 61 枚	約 1282 枚
	エコノミー-E	約 140 KB	約 84 枚	約 1740 枚

● 動画

画質 (pixels)	1ファイル 最長記録時間	転送レート (フレーム/秒)	内蔵メモリー 11.6MB	SDメモリー カード ※256MB
UHQ 640×480	メモリーの 許す限り	約6.0メガビット/秒 (30フレーム/秒)	約16秒	約5分35秒
UHQワイド 848×480	メモリーの 許す限り	約7.2メガビット/秒 (30フレーム/秒)	約13秒	約4分38秒
HQ 640×480	メモリーの 許す限り	約3.0メガビット/秒 (30フレーム/秒)	約32秒	約11分15秒
HQワイド 848×480	メモリーの 許す限り	約3.6メガビット/秒 (30フレーム/秒)	約27秒	約9分21秒
Normal 640×480	メモリーの 許す限り	約1.5メガビット/秒 (30フレーム/秒)	約1分05秒	約22分28秒
LP 320×240	メモリーの 許す限り	約2.4メガビット/秒 (15フレーム/秒)	約39秒	約13分34秒

※撮影できる枚数は目安であり、表示されている枚数よりも少なくなる可能性があります。

※画像ファイルサイズは目安であり、撮影対象により、画像ファイルサイズが変わります。

※松下電器産業(株)製の場合です。使用するメモリーカードによって撮影枚数は異なる場合があります。

※容量の異なるメモリーカードをご使用になる場合は、おおむねその容量に比例した枚数が撮影できます。

※撮影可能な動画のファイルサイズは1ファイル最大4GBまでです。

消去 1ファイル単位、全ファイル一括消去可能
(メモリープロテクト機能付き)

有効画素数 720万画素

撮像素子 1/2.5型正方形画素原色CCD
(総画素数: 741万画素)

レンズ/焦点距離 F3.4-5.3/f=6.3~44.1mm
(35mmフィルム換算38~266mm相当)
非球面レンズを含む9群12枚

ズーム 光学ズーム7倍/
デジタルズーム4倍
(画像サイズ: 7M(3072×2304 pixels)時)
(光学ズーム併用28倍)

焦点調節 コントラスト検出方式オートフォーカス
フォーカスモード:
オートフォーカス/マクロモード/無限遠
モード/マニュアルフォーカス選択可能
AFエリア:
スポット/マルチ/追尾選択可能、
AF補助光付き

撮影可能距離

(レンズ表面より) ... オートフォーカスモード: 約30cm~∞
マクロモード: 約10cm~約40cm
無限遠モード: ∞
マニュアルフォーカスモード: 約10cm~∞
※ 光学ズームにより、範囲は変化します。

露出制御 測光方式: 撮像素子によるマルチパターン測
光/中央重点測光/スポット測光
制御方式: プログラムAE
露出補正: -2EV~+2EV(1/3EV単位)

シャッター CCD電子シャッター/メカシャッター併用
静止画(オート):1/2~1/800秒
静止画(マニュアル露出/シャッター速度優先AE):60~1/800秒
静止画(絞り優先AE):1~1/800秒
※ベストショットモードの一部では異なります。

絞り値 オート/シャッター速度優先AE:
F3.4/F4.6/F9.2※ 自動切替式
マニュアル露出/絞り優先AE:
F3.4/F4.6/F9.2※
※光学ズームにより、絞り値は変化します。
※F9.2はNDフィルター併用による値です。

ホワイトバランス オート/固定(6モード)/マニュアル
感度設定 静止画:オート/ISO 64/ISO 100/
ISO 200/ISO 400/ISO 800
※ベストショットモードの“高感度”
において最大ISO 1600
動画:オート

セルフタイマー 作動時間約10秒、2秒、トリプルセルフタイマー
内蔵フラッシュ 発光モード:フラッシュオート、発光禁止、
強制発光、ソフト発光、赤目軽減
機能切替可能

フラッシュ撮影範囲:
広角時 約0.1m~約2.2m
望遠時 約1.0m~約1.4m

フラッシュ連写:
広角時 約0.4m~約2.1m
望遠時 約1.0m~約1.4m
※ISO感度オート時
※光学ズームにより、撮影範囲は変化します。

撮影/録音関連機能 静止画撮影(音声付き)、マクロ撮影、セルフタイマー撮影、連写(通常連写、高速連写、フラッシュ連写)、ベストショット撮影、簡単撮影(easyモード)、動画撮影(ムービー、ショートムービー、パストムービー、ムービーベストショット(ステレオ音声付き))、音声録音(ボイスレコード)

音声記録時間 音声付き静止画撮影:1画像につき最長約30秒間
アフターレビュー:1画像につき最長約30秒間
ボイスレコード:約36分(内蔵メモリーの場合)

モニター 2.5型TFTカラー液晶
230,400(960×240)画素

ファインダー 液晶モニター

時計機能 クォーツデジタル時計内蔵
日付・時刻:画像データと同時に記録
タイムスタンプ機能あり
自動カレンダー:2049年まで

ワールドタイム 世界162都市(32タイムゾーン)に対応
都市名、日付、時刻、サマータイム

入出力端子 クレードル接続端子
USB USB2.0 Hi-Speed 対応
マイク ステレオ
スピーカー モノラル

■ 電源部、その他

電源.....リチウムイオン充電電池 (NP-50) × 1個
電池寿命

下記の電池寿命は温度23°Cで使用した場合の電源が切れるまでの目安であり、保証時間または保証枚数ではありません。低温下で使うと、電池寿命は短くなります。

撮影枚数(CIPA)※1	約240枚
連続再生時間(静止画)※2	約6時間00分
動画連続撮影時間	約1時間40分
ボイスレコード録音時間※3	約4時間20分

- 使用電池:NP-50(定格容量:950mAh)
- 記録メディア:SDメモリーカード
- 測定条件

※1 撮影枚数(CIPA)

CIPA規準に準ずる

温度(23°C)、液晶モニターオン、30秒毎にズームのワイド端とテレ端で交互に撮影、フラッシュ発光(2枚に1回)、10回撮影に1度電源を切/入操作

※2 連続再生時間

温度(23°C)、約10秒に1枚ページ送り

※3 ボイスレコード録音時間は、連続で録音したときの時間です。

- 上記は、新品の電池のフル充電状態での数値です。繰り返し使用すると、電池寿命は徐々に短くなります。

- フラッシュ、ズーム、オートフォーカスの使用頻度や電源が入った状態の時間により、撮影時間または枚数は大幅に異なる場合があります。

消費電力.....DC3.7V 約4.5W

外形寸法.....幅95.5mm×高さ59.8mm×奥行き25.5mm
(突起部除く、最薄部20.8mm)

質量.....約149g(電池、付属品除く)

付属品.....リチウムイオン充電電池(NP-50)、USBクレードル(CA-35)、専用ACアダプター(AD-C52G)／電源コード、USBケーブル、AVケーブル、ストラップ、CD-ROM、取扱説明書(保証書付き)

■ リチウムイオン充電電池(NP-50)

定格電圧3.7V
定格容量950mAh
使用周囲温度0~40°C
外形寸法幅23.5mm×高さ70.1mm×奥行き7.0mm
質量約30g

■ USBクレードル(CA-35)

入出力端子カメラ接続端子、USB接続端子、外部電源端子 (DC IN 5.3V)、AV接続端子(AV出力: NTSC/PAL標準方式準拠)
消費電力DC5.3V 約3.2W
サイズ幅111mm×高さ30mm×奥行き71mm (突起部除く)
質量約69g

■ 専用ACアダプター(AD-C52G)

入力電源AC100-240V 50/60Hz 83mA
出力電源DC5.3V 650mA
サイズ幅50mm×高さ20mm×奥行き70mm (突起部、ケーブル除く)
質量約90g

別売品

● リチウムイオン充電電池	NP-50
● ソフトケース	ESC-90
● ソフトケース	ESC-91
● ネックストラップ	ENS-1
● ネックストラップ	ENS-2

別売品は、お買い求めの販売店、またはカシオ・オンライン
ショッピングサイト(e-カシオ)にご用命ください。
e-カシオ: <http://www.e-casio.co.jp/>

カシオデジタルカメラに関する情報は、カシオデジタルカメ
ラオフィシャルWebサイトでもご覧になることができます。
<http://dc.casio.jp/>

索引

英数字

9 分割	104
AC アダプター	25
Adobe Reader	146, 158
AF エリア	79
AF 補助光	44
AF 補助光 / 撮影ライト / セルフタイマーランプ	44, 53, 83
DCF 規格	166
DirectX	145
DPOF	140
DVD レコーダー	102
easy (簡単撮影) モード	44
EV シフト	84
Exif Print	142
HD ズーム	49
ISO 感度	87
Language	132
Mass Storage	133, 149, 161
MMC (マルチメディアカード)	31
MMC <i>plus</i> (マルチメディアカードプラス)	31
NTSC 方式	103
PAL 方式	103
PDF ファイル	158

Photo Loader with HOT ALBUM	145, 153
インストール	153
Photo Transport	156
インストール	156
PictBridge	136
PictBridge 対応のプリンター	137
PRINT Image Matching III	142
PTP	133
SD メモリーカード	31
SDHC メモリーカード	31
USB DIRECT-PRINT	136
USB DIRECT-PRINT 対応の プリンター	137
USB driver Type B	145
USB クレードル	8
USB 通信	133
USB ドライバ インストール	147

あ

アイコンガイド	94
赤目軽減	50
明るさ編集	114
鮮やかさ	90
アフレコ	119
アングル補正	108
一時停止	98

一覧表示	104
印刷	136
インストール Photo Loader with HOT ALBUM	153
USB ドライバ	147
液晶モニター	171
明るさ	133
情報 表示内容	36, 171
オートパワーオフ	29
オートフォーカス 制限事項	76, 77 46
オートフレーミング	75
オートマクロ	78
お気に入りフォルダ 登録 ファイルを消去	124 124 128
お手入れ	22
音声 静止画に音声を加える 録音し直す 録音する	119 55 119 55
音声だけを録音する	120
音声付き静止画 音声を聞く	55 97
音声付き静止画の再生	97
音量	98, 129

か

海外で使うとき	28
回転	111
拡大	98, 104
画質	13
静止画	13
動画	15, 61
カスタム登録	68
画素	42
画像サイズ	13
決める	42
画像転送	156
カラーフィルター	89
カレンダー形式	105
感度を上げる	69
キーカスタマイズ	93
間く	
音声	97
静止画の音声	56
ボイスレコードの音声	121
基準線	93
起動画面	130
強制発光	49
クイックシャッター	42, 80
グリッド	93
蛍光灯	86
結露	21
光学ズーム	47

交換	
電池	27
メモリーカード	32
コピー	125
コントラスト	90

さ

再生音量	129
再生する	96
再生モード	28
彩度	90
撮影	
静止画	12, 38
動画	15, 61, 62
ムービー	62
撮影モード	28
撮影ライト	83
撮影レビュー	94
色調	89
時刻	9
絞り値	
自分で設定する	57
絞り優先 AE	57
シャープネス	90
シャッター	12
シャッター速度	
自分で設定する	57
シャッター速度優先 AE	57, 58
シャッターチャンス	80

充電	8, 24, 25
使用環境	21
消去	17, 127
消去防止	123
ショートムービー	63
ズーム撮影	47
ズームバー	48
スポット	88
スライドショー	99
スリープ	29
静止画	
一部を切り抜く	107
音声を加える	55
音声を追加する (後から)	119
画質	13, 43
撮影する	12, 38
動画から作成する	117
見る	14, 96
整理	122
接続	
DVD レコーダー	102
テレビ	101
パソコン	148, 160
ビデオデッキ	102
セルフタイマー	52
全押し	13
鮮明さ	90
操作音	129
操作音量	129
測光方式	88

ソフト発光..... 49

た

退色補正..... 109

ダイナミックレンジ..... 89, 115

タイムスタンプ..... 90

ためし撮り..... 20

中央重点..... 88

著作権..... 19

追尾..... 79

デジタルズーム..... 47

 オフにする..... 49

デジタルズーム表示..... 48

手ブレ..... 82

テレビ..... 101

電源を入れる..... 28

電源を切る..... 29

電池

 入れる..... 8, 24

 交換する..... 27

 残量..... 26

 充電する..... 8, 24

 寿命..... 188

 消耗を抑える..... 29

 不良..... 26

 保管..... 27

 予備..... 28

電池カバー..... 24

動画

 画質..... 15, 61

 カットする..... 115

 形式..... 61

 サイズ..... 61

 撮影する..... 15, 61, 62

 見る..... 16, 97

動作確認用ランプ..... 12, 40, 176

登録

 お気に入りフォルダ..... 124

トリミング..... 107

な

内蔵メモリー

 フォーマットする..... 134

 メモリーカードにコピー..... 126

日時..... 131

日時設定..... 131

日時編集..... 110

は

バستمービー..... 64

パソコン

 画像を管理する..... 153

 画像を保存する..... 151, 163

 カメラの画像を見る..... 150, 162

 接続..... 148, 160

 動画を再生する..... 154, 164

 動作環境..... 145

発光禁止..... 49

早送り/早戻し..... 98

半押し..... 13

ビジネスショット..... 70

被写体ブレ..... 82

ヒストグラム..... 91

日付と時刻..... 9, 131

日付の表示スタイル..... 131

日付プリント..... 142

ビデオ出力の方式..... 103

ビデオデッキ..... 102

美肌処理..... 89

表示言語..... 132

ピント

 合わせる..... 40, 76

ファイル..... 122

 コピー..... 125

 消去..... 128

ファイルサイズ

 音声..... 55

 動画..... 61

ファイル名..... 122

フォーカスフレーム..... 12, 40

フォーカスモード..... 76

フォーカスロック..... 80

フォーマット..... 11

 内蔵メモリー..... 134

 メモリーカード..... 11, 33

フォトスタンド..... 100

フォルダ..... 122

フォルダ構造	166
フォルダ名	122
フラッシュ	49
強さを変える	51
フラッシュアシスト	51
フラッシュオート	49
プリンター	
PictBridge 対応	137
USB DIRECT-PRINT 対応	137
プリンターでプリントする	137
プリント	136
プリントサービスのお店	136
プリントする画像や枚数	140
ブレ軽減	82
ベストショット	18, 66
シーン	66
編集	106
ボイスレコード	120
ホームタイム	
都市	131
日時	131
補正する	
明るさ	84
露出	84
保存	
内蔵メモリーに保存	10, 30
パソコンに保存	151
メモリーカードに保存	10, 30
ホワイトバランス	
調整	86
補正	113

ま

マイベストショット	68
マクロ	76, 78
マニュアルフォーカス	76, 81
マニュアルホワイトバランス	86
マニュアル露出	57, 59
マルチ (マルチパターン)	88
見る	
お気に入りフォルダ	124
静止画	14, 96
動画	16, 97
ムービー	
撮影する	62
ムービーアイコン	16
無限遠	76, 81
明暗の差	90
メッセージ	182
メッセージの言語	9
メニュー	34
メニュー一覧表	173
メモリーカード	30
入れる	10, 32
交換する	32
フォーマットする	11
メモリープロテクト	123
モーションプリント	117
モードメモリ	94

や

ユーザー登録	159, 164
予備の電池	28
よみがえりショット	72

ら

リサイクル	22
リサイズ	106
リセット	95
レイアウトショット	74
レイアウトプリント	111
連写	54
高速連写	54
通常連写	54
フラッシュ連写	54
連続撮影	54
連番のカウント方法	130
録音	55
露出	
確認する	91
補正する	84

わ

ワールドタイム	132
---------	-----